

ピアノを弾く

いろいろな音で弾く

本機にはたくさんの音色が内蔵されています。
いろいろな音色を選んでみましょう。

6 ページ

2人で弾く (ツインピアノ)

まるで2台のピアノを弾くように、鍵盤を左右に分けて演奏することができます。

7 ページ

曲を練習する

メトロノームを鳴らす

メトロノームを鳴らすことができます。

8 ページ

内蔵曲に合わせて練習する

本機にはたくさんの曲が内蔵されています。
曲名は「内蔵曲一覧」(P.26)をご覧ください。

9 ページ

練習している曲を録音する

演奏を録音することができます。

10 ページ

ピアノを調節する

鍵盤を弾いたときのタッチ感を変える

演奏者の好みに合わせて、鍵盤を弾いたときのタッチ感を調節できます。

6 ページ

他の楽器と音の高さを合わせる

他の楽器とアンサンブルするときなど、本機の基準ピッチを他の楽器に合わせることができます (マスターチューニング)。

16 ページ

自分だけのピアノを作る (ピアノデザイナー)

グランドピアノの音の要素を調節して、好みのピアノの音を作ることができます。

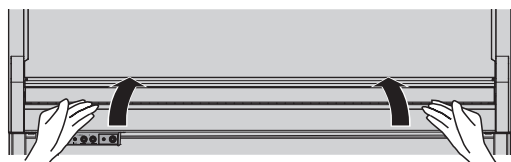
13 ページ

フタの開け／閉めだけで電源をオン／オフできます

4 ページ

1. フタを開けると、自動で電源が入ります。

フタを閉じると、自動で電源が切れます。



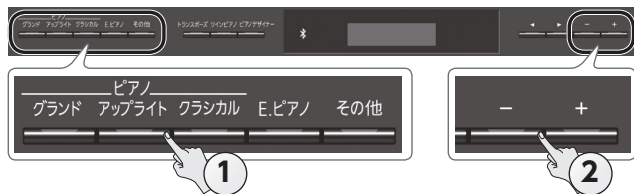
2. [ボリューム] ボタンで、音量を調節します。



かんたんフイック・ガイド

音色を選ぶ

本機では、ピアノやピアノ以外のさまざまな音色で演奏を楽しむことができます。



1. 音色ボタンを押す。

音色のグループを選びます。

ボタン	説明
ピアノ [グランド] ボタン	グランドピアノの音色
ピアノ [アップライト] ボタン	アップライトピアノの音色
ピアノ [クラシカル] ボタン	フォルテピアノやチェンバロなどの音色
[E. ピアノ] ボタン	エレクトリック・ピアノの音色
[その他] ボタン	弦楽器、オルガン、伴奏用などの、さまざまな音色

2. [-] [+] ボタンで音色を選ぶ。

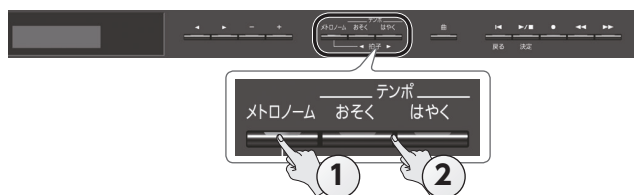
メモ

詳しい音色については、「音色一覧」(P.25)をご覧ください。

6 ページ

メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしながら、演奏することができます。



1. [メトロノーム] ボタンを押す。

2. [おそく] [はやく] ボタンを押す。

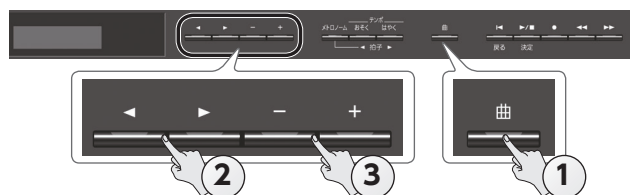
メトロノームのテンポが変わります。

8 ページ

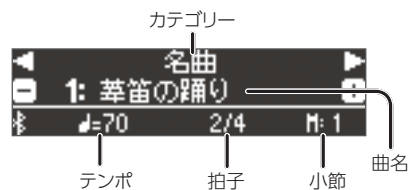
曲を選ぶ／再生する

曲に合わせて演奏することができます。

曲を選ぶ



1. [曲] ボタンを押す。



2. [◀] [▶] ボタンでカテゴリーを選ぶ。

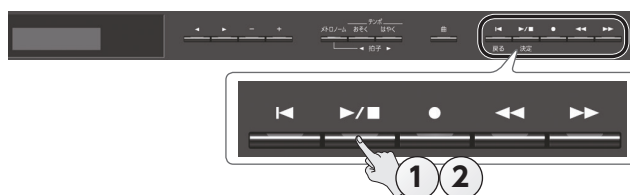
カテゴリー	説明
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
名曲	同梱の楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」に対応した曲
コレクション	同梱の楽譜集「楽しく弾けるピアノ・アレンジ・コレクション」に対応した曲
セレクション	ポピュラーやクラシックなどの名曲
スケール	本機の内蔵曲 スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール) 巻末の「スケール楽譜集」に対応した曲
ハノン	ハノン・ピアノ教本より 第 1 ~ 20 番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本 第 1 ~ 106 番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25 の練習曲
ツェルニー 100 番	ツェルニー 100 番の練習曲

3. [-] [+] ボタンで曲を選ぶ。

メモ

内蔵曲については「内蔵曲一覧」(P.26)をご覧ください。

曲を再生する



1. [▶/■] ボタンを押す。

曲が再生されます。

2. もう一度、[▶/■] ボタンを押す。

曲が停止します。

曲の操作

曲の先頭に戻す	[◀] ボタンを押す。
再生／停止する	[▶/■] ボタンを押す。
早戻しする	[◀◀] ボタンを押す。
早送りする	[▶▶] ボタンを押す。
カテゴリー内の曲を全曲再生する (オール・ソング・プレイ)	[曲] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
曲のテンポを変える	[おそく] [はやく] ボタンを押す。

9 ページ

目次

かんたんクイック・ガイド	2
音色を選ぶ	2
メトロノームを使う	2
曲を選ぶ／再生する	2
主な仕様	3
演奏する前に	4
電源を入れる／切る（フタの開閉）	4
譜面立てを使う	4
屋根を開ける／閉める	4
各部の名称とはたらき	5
操作ガイド	6
音色を選ぶ	6
全体の音量を調節する	6
音に響きをつける（音の響き）	6
音の明るさを調節する（音の明るさ）	6
鍵盤のタッチ感を変える（キータッチ）	6
いろいろな設定をする（ファンクション・モード）	6
鍵盤を2つに分けて演奏する（ツインピアノ）	7
移調して演奏する（トランスポーズ）	7
左手と右手で違う音色にする（スプリット演奏）	7
自分だけのピアノ音色を作る（ピアノデザイナー）	7
2つの音色を重ねる（デュアル演奏）	7
ディスプレイ	8
Bluetooth 機能を使う	8
項目を選ぶ／値を変える	8
メトロノームを鳴らす	8
曲を選ぶ	9
再生する／録音する	9
ボタンが効かないようにする（パネル・ロック）	9
再生するパートを選ぶ（パート・ミュート）	9
応用編	10
演奏を録音する	10
SMF 録音する	10
新しく曲を録音する	10
録音した曲に重ねて録音する	10
オーディオ録音する	11
曲の名前を変更する（曲の名前変更）	11
保存した曲をコピーする（曲のコピー）	12
保存した曲を削除する（曲の削除）	12
自分だけのピアノ音色を作る（ピアノデザイナー）	13
ピアノの設定を読み込む／保存する	14
ピアノ設定を保存する（ピアノ設定の保存）	14
ピアノ設定を読み込む（ピアノ設定の読込）	14
便利な機能	15
メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）	15
お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）	15

いろいろな設定をする（ファンクション・モード）	16
ファンクション・モードの基本操作	16
他の楽器と音の高さを合わせる（マスターチューニング）	16
調律法を変える（調律法）	16
調律の主音を設定する（調律法主音）	16
曲（SMF）の音量を調節する（曲ボリューム SMF）	16
曲（オーディオ）の音量を調整する（曲ボリューム AUDIO）	16
オーディオ再生機器の音量を調節する（インプットボリューム）	16
曲（SMF）再生時のモードを設定する（SMF 再生モード）	17
録音するときの形式を選ぶ（録音モード）	17
ペダルの効果のかけかたを変える（右ペダルパート）	17
ペダルのはたらきを変える（中央ペダル機能）	17
ペダルの効果のかけかたを変える（左ペダル機能）	17
ディスプレイの明るさを調節する（ディスプレイコントラスト）	17
ボリュームの最大値を設定する（ボリュームリミット）	17
シーケンサーとつないだときの2度鳴りを防ぐ（ローカルコントロール）	17
MIDI 送信チャンネルを変える（MIDI 送信チャンネル）	17
ディスプレイに表示される言語を変える（言語／Language）	18
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする（オートオフ）	18
フタを閉めたときに電源をオフにする（鍵盤蓋による電源オフ）	18
自動で設定を保存する（自動メモリーバックアップ）	18
Bluetooth®（ブルートゥース）機能を使う	19
こんなことができます	19
Bluetooth オーディオ機能を使う	19
モバイル機器を登録する（ペアリング）	19
ペアリング済みのモバイル機器を接続する	19
Bluetooth オーディオのボリュームを調節する	19
譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する	20
ペアリング済みのモバイル機器を接続する	20
譜めくり機能の操作キーを変える	20
譜めくりの操作方法を変える	20
MIDI データのやりとりをする	20

機器をつなぐ	21
安全上のご注意	22
使用上のご注意	22
故障かな?と思ったら	23
こんな表示が出たら（エラー・メッセージ）	24
音色一覧	25
内蔵曲一覧	26

主な仕様

ローランド LX-17、LX-7：デジタル・ピアノ

	LX-17	LX-7
音源	ピアノ音：スーパーナチュラル・ピアノ・モデリング音源	
鍵盤	PHA-50 鍵盤：ハイブリッド構造（木材×樹脂センターフレーム）、エスケープメント付、象牙調・黒檀調（88 鍵）	
Bluetooth	オーディオ：Bluetooth 標準規格 Ver 3.0（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応） MIDI、譜めくり：Bluetooth 標準規格 Ver 4.0	
電源	AC アダプター	
消費電力	13W	11W
外形寸法 （専用スタンド込み）	屋根を閉めたとき 1,407（幅）× 470（奥行）× 1,070（高さ）mm 屋根を開けたとき： 1,407（幅）× 482（奥行）× 1,132（高さ）mm	1,391（幅）× 446（奥行）× 1,039（高さ）mm

	LX-17	LX-7
質量 （専用スタンド込み）	87.3kg	LX-7-BW：76.8kg LX-7-PE：77.1kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランドユーザー登録カード、楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」、楽譜集「楽しく弾ける・ピアノ・アレンジ・コレクション」、AC アダプター、電源コード、ヘッドホン・フック、専用高低自在椅子	
別売品	USB メモリー（※ 1） ※ 1：ローランドが販売している USB メモリーを使用してください。それ以外の製品を使用したときの動作は保証できません。	

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

演奏する前に

電源を入れる／切る（フタの開閉）

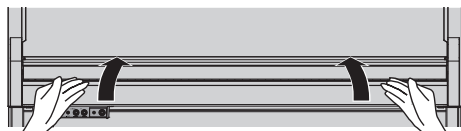
フタの開け／閉めだけで電源をオン／オフできます。

電源を入れる

1. つないでいる機器の音量を最小にします。
2. フタを開けます。

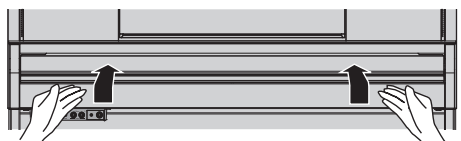
LX-17

フタを開けるときは、フタを両手で持って持ち上げます。



LX-7

フタを開けるときは、フタを両手で持って軽く持ち上げ、奥にスライドさせます。



3. [ボリューム] ボタンで、音量を調節します。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

電源を切るときは

1. フタを閉めます。

LX-17

フタを両手で持って静かに下におろします。

LX-7

ゆっくりと手前に引き、止まったところで静かに下におろします。

メモ

- [0] ボタンを押すと、フタを開けたまま電源をオン／オフできます (P.5)。
- フタを閉めても、電源がオフにならないようにすることができます (P.18)。

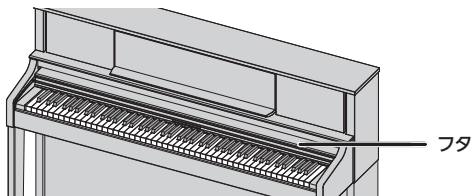
ご注意！

- フタは必ず両手で開け閉めしてください。本機のフタは、手を離してもゆっくり閉まる構造になっていますが、少しだけ開けたときなどは、すぐに閉まります (LX-17 のみ)。
- フタを開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。
- 蓋の上に物（紙や金属など）を置いたまま、蓋を開けないでください。本体の中に入って、取り出せなくなることがあります。
- 電源オフ時に Phones 端子の「Phones」が点灯している間は、電源コードを抜かないでください。

フタでパネルを見えなくする （アコースティック・ポジション）

LX-7 のみ

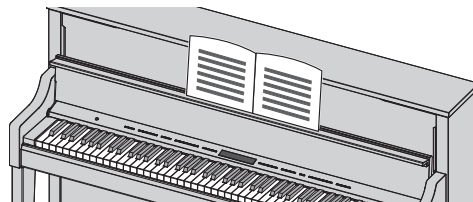
フタでパネルを覆うことで、パネルを気にせず演奏に集中できます。



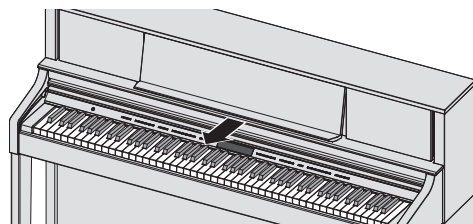
譜面立てを使う

LX-17

開けたフタの上部に、譜面を置いて使うことができます。



LX-7



1. 譜面立てをゆっくりと手前に引きます。

ご注意！

- 譜面立てを戻すときは、軽く手前に引いてから、ゆっくりと奥まで押し込んでください。
- 譜面立てを引く／戻すときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

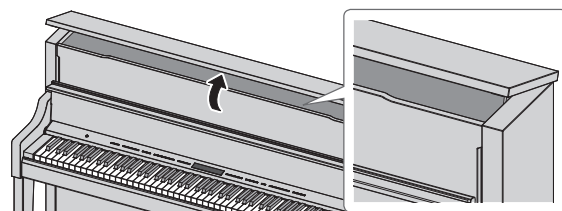
譜面を置くコツ

薄い紙状の譜面をのせる場合は、クリップ・ボード等にはさんで譜面立てに置いてください。

屋根を開ける／閉める

LX-17 のみ

屋根を開けると輪郭のはっきりした音になり、閉めると柔らかな音になります。



1. 屋根を両手で持ち上げます。
2. 屋根を閉めるときは、屋根を両手で持ち上げてから、屋根をゆっくりと下ろします。

ご注意！

- 屋根を開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。
- 破損の原因になりますので、屋根を無理に後方へ開かないでください。

オートオフ機能について



本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。

自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください (P.18)。

- 電源が切れると編集中の設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

各部の名称とはたらき

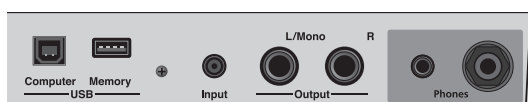
【】 ボタン

本機は、フタの開け／閉めだけで電源をオン／オフできます。
フタを開けたまま電源をオン／オフしたいときは、
【】 ボタンを押します。
電源を切るときは、【】 ボタンを長押しします。
※ 画面に「電源を抜かないでください」と表示されている間は、電源コードを抜かないでください。



底面パネル

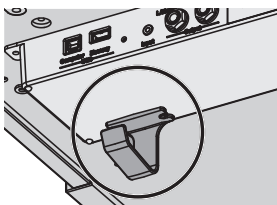
ヘッドホンや USB メモリーなどをつなぎます。



21 ページ

ヘッドホン・フック

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホン・フックにヘッドホンをかけておくことができます。



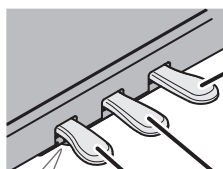
※ ヘッドホン・フックにヘッドホン以外のものをかけたり、無理な力を加えたりしないでください。ヘッドホン・フックを破損することがあります。

フロント・パネル

本機を操作します。

6 ページ

ペダル



アジャスター

ペダルボードの下にあるアジャスターを下げて、床に当たるように調節します。
カーペットの上などに設置するときは、床面を少し強く押し付けるぐらいに下げてください。

ダンパー・ペダル

音に余韻を与えたいときに使います。このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が切れずに長い余韻が続きます。
アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルには、踏み込み始めは軽く、途中から重くなる感触の変化があります。本機ではこの感触の変化を再現しています。
アコースティック・ピアノでは、ダンパー・ペダルを踏んだときに、弦が開放された音や弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴して豊かな響きと広がり加わります。また、ハーフ・ペダル奏法では、音の芯（しん）がすぐに消えて豊かな広がりや響きだけが残る、独特な音の余韻になります。本機ではこの開放音（ダンパーノイズ）や共鳴音（ダンパーレゾナンス）を再現するのはもちろんのこと、ハーフ・ペダル奏法時の独特な余韻も再現しています。

ソステヌート・ペダル

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけに余韻を与えます。

ソフト・ペダル

音に柔らかさを与えたいときに使います。このペダルを踏んだまま鍵盤を弾くと、通常同じ強さで弾いたときの音よりも柔らかい音が出ます。グランドピアノの左側のペダルと同じはたらきです。ペダルを踏む深さによって、音の柔らかさが微妙に変わります。

※ ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

操作ガイド

基本操作

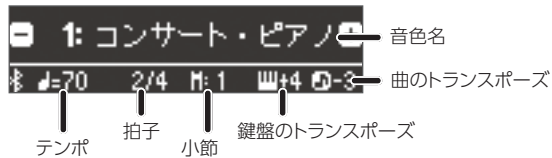
設定項目を選ぶ	[◀ ▶] ボタンを押す。
値を変える	[−] [+] ボタンを押す。
値を初期値に戻す	[−] [+] ボタンを同時に押す。

音色を選ぶ

本機では、ピアノやピアノ以外のさまざまな音色で演奏を楽しむことができます。
音色は5つのグループに分けられ、それぞれ音色ボタンに割り当てられています。

音色を選ぶ	[グランド] ボタンなどの音色ボタンを押してから、 [−] [+] ボタンを押す。
-------	--

ディスプレイの見かた



音色を試聴する（音色デモ）

1. [キータッチ] ボタンを押しながら [設定] ボタンを押す。
2. 音色を選ぶ。
各音色グループの最初の音色の音色デモを聴くことができます。
3. 音色デモを終えるときは、[◀] ボタンを押す。

メモ

詳しい音色については、「音色一覧」(P.25) をご覧ください。

音色のグループ

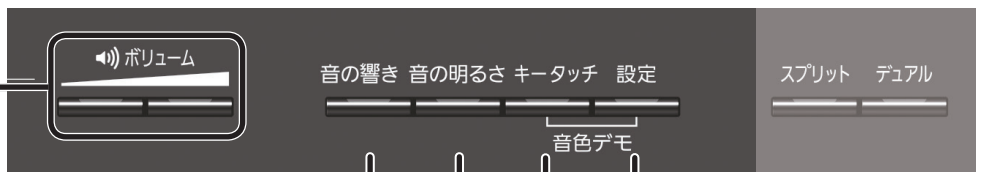
ボタン	説明
ピアノ [グランド] ボタン	グランドピアノの音色
ピアノ [アップライト] ボタン	アップライトピアノの音色
ピアノ [クラシカル] ボタン	フォルテピアノやチェンバロなどの音色
[E. ピアノ] ボタン	エレクトリック・ピアノの音色
[その他] ボタン	弦楽器、オルガン、伴奏用などの、さまざまな音色 メモ [◀] [▶] ボタンを押して、次のカテゴリーの音色を選ぶことができます。 ※ コンボ・オルガンやバラード・オルガンなどのロータリー効果 (*1) のかかるオルガン音色を選んでいるときに [その他] ボタンを押すと、ロータリー効果のうねりの速さを変えることができます。

*1 ロータリー効果は、回転スピーカーを使ったときのように音にうねりをつける効果です。ロータリー効果は、「速い」と「遅い」の2種類があります。

全体の音量を調節する

本体スピーカー使用時はスピーカーの音量、ヘッドホン接続時はヘッドホンの音量を調節することができます。

音量を調節する	0 ~ 100
---------	---------



音に響きをつける（音の響き）

音にコンサート・ホールで演奏しているような響きをつけます。

音の響きを調節する	0 ~ 10 (初期値: 2) ※ ヘッドホン 3D アンビエンスが「オン」のときは、ヘッドホン 3D アンビエンス効果のかかり具合を調節できます。
ヘッドホン 3D アンビエンス	ヘッドホン使用時でもピアノ本体から音が聞こえるような、ヘッドホン 3D アンビエンス効果をかけることができます。 オフ、オン (初期値: オン)

※ オーディオ・ファイルに音の響き効果はかかりません。

音の明るさを調節する（音の明るさ）

鍵盤を弾いたときや曲を再生したときの、音の明るさを調節します。

音の明るさを調節する	-10 ~ 0 ~ 10 (初期値: 0)
------------	-----------------------

いろいろな設定をする（ファンクション・モード）

本機の詳細設定をします。

1. [設定] ボタンを押す。
2. [◀] [▶] ボタンで設定したい項目を選ぶ。
3. [−] [+] ボタンで設定値を変える。

16 ページ

鍵盤のタッチ感を変える（キータッチ）

鍵盤を弾いたときの手応え（タッチ感）を変えます。

キータッチを調節する	Fix, 1 ~ 100 (初期値: 50) ※ [Fix] に設定すると、鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の音量で音が鳴ります。
ハンマーレスポンス	鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節します。値が大きくなるほど遅くなります。 オフ, 1 ~ 10 (初期値: 1)

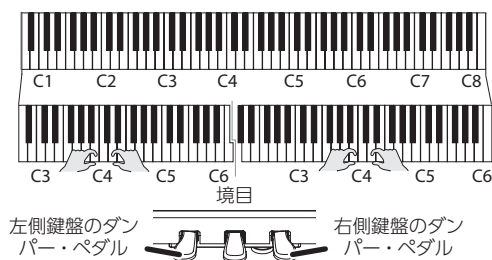
鍵盤を2つに分けて演奏する (ツインピアノ)

鍵盤を左右の領域に分けて、2人で同じ音域で演奏することができます。

ツインピアノをオンにする	[ツインピアノ] ボタンをオンにする。	
ツインピアノの音色を変える	1. 音色ボタンを押す。 2. [-] [+] ボタンを押す。	
音の鳴りかたを変える (モード)	ペア	右側の音は右スピーカーが大きく、左側の音は左スピーカーが大きく鳴ります。ヘッドホンを使うと相手側の演奏が聞こえます。
	セパレート	右側の音は右スピーカーのみ、左側の音は左スピーカーのみ鳴ります。ヘッドホンを使うと相手側の演奏は聞こえません。

通常の鍵盤

ツインピアノ

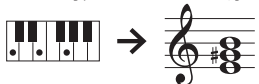


移調して演奏する (トランスポーズ)

鍵盤や曲を半音単位で移調することができます。

たとえば、ホ長調 (E) の曲をハ長調 (C) の鍵盤の位置で弾く場合は、鍵盤のトランスポーズを「4」に設定します。

ドミソと弾くと→ミソ#シと鳴る



鍵盤のトランスポーズ	-6 ~ 0 ~ 5 (初期値: 0)
	メモ [トランスポーズ] ボタンを押しながら、移調したい調の主音にあたる鍵盤を押して、鍵盤のトランスポーズの値を変えることもできます。
曲のトランスポーズ	-12 ~ 0 ~ 12 (初期値: 0)

自分だけのピアノ音色を作る (ピアノデザイナー)

グランドピアノの音の要素を調節して、好みのピアノの音色を作ります。

1. [ピアノデザイナー] ボタンを押す。
2. [◀ ▶] ボタンで設定したい項目を選ぶ。
3. [-] [+] ボタンで設定値を変える。

メモ

ピアノデザイナーで音色を作ることができるのは、[グランド] ボタンの音色のみです。



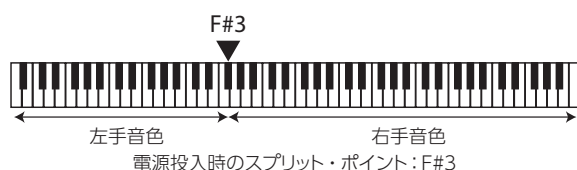
13 ページ



左手と右手で違う音色にする (スプリット演奏)

たとえば、左手はベースの音、右手はピアノの音で演奏するなど、ある鍵を境に鍵盤右側と左側のそれぞれで違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

スプリットをオンにする	[スプリット] ボタンをオンにする。
右手音色、左手音色を変える	1. [◀ ▶] ボタンで、「右手音色」または「左手音色」を選ぶ。
	2. 音色ボタンを押す。
	3. [-] [+] ボタンを押す。
スプリット・ポイント	スプリット・ポイントを変える。
	メモ [スプリット] ボタンを押しながら分割する位置の鍵盤を押して、スプリット・ポイントを設定することもできます。
バランス	B1 ~ B6 (初期値: F#3)
	スプリット演奏の音量バランスを変える。
左手シフト	9:1 ~ 9:9 ~ 1:9 (初期値: 9:9)
	左手音色の音の高さをオクターブ単位で変える。
	-2 ~ 0 ~ 2 (初期値: 0)



※ 左手音色に [グランド] ボタンの音色を選べると、聞こえかたが変わることがあります。

2つの音色を重ねる (デュアル演奏)

1つの鍵盤で、2つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。

デュアルをオンにする	[デュアル] ボタンをオンにする。
音色1、音色2を変える	メモ 2つの音色ボタンを同時に押して、デュアル演奏することもできます。
	1. [◀ ▶] ボタンで、「音色1」または「音色2」を選ぶ。
	2. 音色ボタンを押す。
バランス	デュアル演奏の音量バランス (音色1: 音色2) を変える。
	9:1 ~ 9:9 ~ 1:9 (初期値: 9:4)
音色2シフト	音色2の音の高さを、オクターブ単位で変える。
	-2 ~ 0 ~ 2 (初期値: 0)

※ 音色の組み合わせによっては、音色2にエフェクトがかからないため、音色の聞こえかたが変わることがあります。

※ 音色2に [グランド] ボタンの音色を選べると、聞こえかたが変わることがあります。

音名 (C4 など) の読みかた

スプリット・ポイントなどの設定値のアルファベットは、音名を表しています。A = ラ、B = シ、C = ド・・・G = ソになります。

たとえば、「C4」の場合は、鍵盤の左端から「4番目のド」を表します。





ディスプレイ

音色名、曲名、テンポ、拍子などを表示します。

Bluetooth の接続状態

テンポ

拍子

鍵盤のトランスポーズ

曲のトランスポーズ

音色名または曲名

※ 本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定（音色名など）と本文中の画面上の設定は一致していないことがあります。あらかじめご了承ください。

項目を選ぶ／値を変える

設定項目を選ぶ	[◀] [▶] ボタンを押す。
値を変える	[-] [+] ボタンを押す。
連続して値を変える	[-] ボタンまたは [+] ボタンを押し続ける。
値を初期値に戻す	[-] ボタンと [+] ボタンを同時に押す。

Bluetooth 機能を使う

Bluetooth 対応のオーディオ再生機器の音を本機から鳴らしたり、ペダルを使って楽譜アプリの譜めくりをしたりすることができます。本機の電源を入れたら、Bluetooth インジケーターが点灯します。ペアリング中や接続／切断時は、Bluetooth インジケーターが点滅します。

19 ページ

メトロノームを鳴らす

メトロノームを鳴らしながら、演奏することができます。メトロノームのテンポや拍子を変えることもできます。曲の再生中は、メトロノームはその曲のテンポや拍子に合わせて鳴ります。

メトロノームを鳴らす

テンポを変える

拍子

強拍

パターン

音量

音色

[メトロノーム] ボタンを押してオンにする。

[おそく] [はやく] ボタンを押す。

10 ～ 500

メトロノームの拍子を変えます。

メモ

[メトロノーム] ボタンを押しながら [おそく] [はやく] ボタンを押しても、拍子を変えることができます。

2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8
(初期値：4/4)

強拍を鳴らす。

オフ、オン (初期値：オン)

メトロノームのパターンを変える。

オフ、8 分音符、3 連符、シャッフル、16 分音符、2 拍 3 連、4 分音符、付点 8 分音符
(初期値：オフ)

メトロノームの音量を変える。

オフ、1 ～ 10 (初期値：5)

メトロノームの音色を変える。

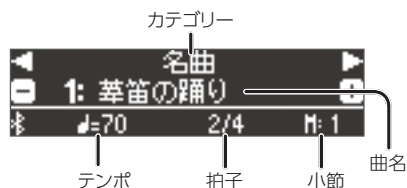
クリック、電子音、いちに、One Two
(初期値：クリック)

8

曲を選ぶ

ソング画面で曲を選びます。

1. [曲] ボタンを押してソング画面を表示する。



2. [◀] [▶] ボタンでカテゴリーを選ぶ。
3. [−] [+] ボタンで曲を選ぶ。
4. [▶/■] ボタンを押して、曲を再生する。

メモ

USB メモリーのフォルダーの中にある曲を選ぶときは、以下の操作をします。

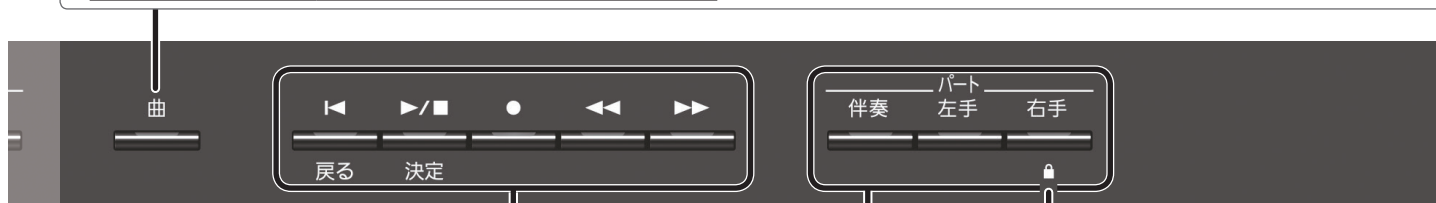
フォルダーに入る	[−] [+] ボタンでそのフォルダーを選んでから、[▶/■] (決定) ボタンを押す。
フォルダーから抜ける	[−] ボタンで「(上る)」を選んでから、[▶/■] (決定) ボタンを押す。

カテゴリー一覧

カテゴリー	説明
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
名曲	同梱の楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」に対応した曲
コレクション	同梱の楽譜集「楽しく弾けるピアノ・アレンジ・コレクション」に対応した曲
セレクション	ポピュラーやクラシックなどの名曲
スケール	本機の内蔵曲 スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール) 巻末の「スケール楽譜集」に対応した曲
ハノン	ハノン・ピアノ教本より 第 1 ~ 20 番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本 第 1 ~ 106 番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25 の練習曲
ツェルニー 100 番	ツェルニー 100 番の練習曲

メモ

内蔵曲については「内蔵曲一覧」(P.26) をご覧ください。



再生する／録音する

曲を再生／録音します。

曲の先頭に戻す	[◀] ボタンを押す。
再生／停止する	[▶/■] ボタンを押す。
録音待機にする	停止中に [●] ボタンを押す。
録音する	録音待機中に [▶/■] ボタンを押す。
早戻りする	[◀◀] ボタンを押す。
早送りする	[▶▶] ボタンを押す。
カテゴリー内の曲を全曲再生する (オール・ソング・プレイ)	[曲] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
曲のテンポを変える	[おそく] [はやく] ボタンを押す。
曲のテンポを一定にして再生する (テンポ・ミュート)	[▶/■] ボタンを押しながら [おそく] または [はやく] ボタンを押す。 テンポ・ミュートを解除するときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押しながら [おそく] または [はやく] ボタンを押す。
カウント・イン (*1) を鳴らす	[メトロノーム] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。

*1 カウントを鳴らしてから曲を再生することを「カウント・イン」といいます。曲に合わせて演奏するときカウントを鳴らすことで、曲と自分の演奏のタイミングを合わせやすくなります。

新規録音する

1. 演奏する音色を選ぶ。
2. [●] ボタンを押す。
3. [▶/■] ボタンを押して録音を始める。
4. [▶/■] ボタンを押して停止する。

重ね録音する

1. 重ね録音する曲を選ぶ。
2. [●] ボタンを押す。
3. カーソル [▶] ボタンを押す。
4. 録音するパートのボタンを押して点滅させる。
5. [▶/■] ボタンを押して録音を始める。
6. [▶/■] ボタンを押して停止する。

ボタンが効かないようにする (パネル・ロック)

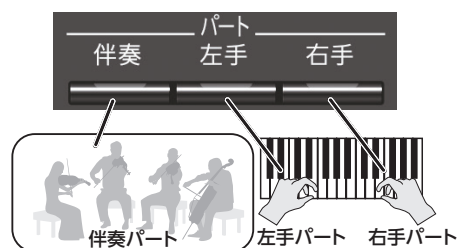
[0] ボタンと [ボリューム] ボタン以外のボタンを効かなくすることで、誤操作を防ぎます。

パネルをロックする	画面に「」マークが表示されるまで、[右手] ボタンを押し続ける。
ロックを解除する	「」マークが消えるまで [右手] ボタンを押し続けるか、電源を切る。

再生するパートを選ぶ (パート・ミュート)

本機の曲は、3 つのパート (伴奏、左手、右手) で構成されています。特定のパートを鳴らないようにして (ミュート)、必要なパートだけを再生することができます。

パートを鳴らす	鳴らしたいパートのボタンを点灯させる。
パートをミュートする	ミュートしたいパートのボタンを消灯させる。



※ 左手パートや伴奏パートがない曲があります。その場合は、パートのボタンを押しても点灯しません。

※ オーディオ・ファイルの再生では、パート・ミュート機能は使えません。

本機で再生できる曲の形式

本機は以下の形式のデータを再生できます。

- SMF フォーマット 0/1
- オーディオ・ファイル: WAV 形式、44.1kHz、16 ビット・リニア

演奏を録音する

本機は、録音した演奏を再生して自分の演奏を確認したり、録音した演奏に合わせて演奏したりすることができます。

録音の種類

SMF 録音	<ul style="list-style-type: none"> パートを分けて録音できます。 曲の一部分だけを録り直すことができます。 パートごとに重ねて録音できます。
オーディオ録音	<ul style="list-style-type: none"> 音声データとして録音します。 録音した曲をパソコンで利用できます。 <p>※ オーディオ録音した曲には、アコースティック・プロジェクション (*1) の効果は再現されません。</p> <p>※ オーディオ録音するには、USB メモリー (別売) を USB Memory 端子につないでおく必要があります。</p>

*1 アコースティック・プロジェクションは、本機の数々のスピーカーごとに違う音を鳴らすことで、ピアノの奥行きや立体感などを再現する効果です。鍵盤で弾いたときや、SMF で録音した曲を再生したときに、この効果が再現されます。

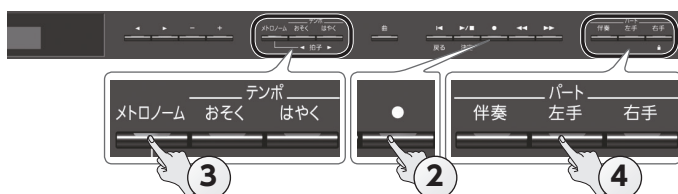
SMF 録音する

新しく曲を録音する

SMF 録音は、演奏を手軽に記録しておきたいときに便利です。

※ ツインピアノをオンにして録音するときは、SMF 再生モード (P.17) を「外部データ」に設定してください。

録音の準備



1. 演奏する音色を選びます (P.6)。

2. 必要に応じて、メトロノームを鳴らします (P.8)。

メトロノームのテンポや拍子を設定できます。

メモ

メトロノームのテンポや拍子が曲に記憶され、再生時にもメトロノームを正しく鳴らすことができます。

3. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

4. 録音するパートのパート・ボタンを押して、点滅させます。

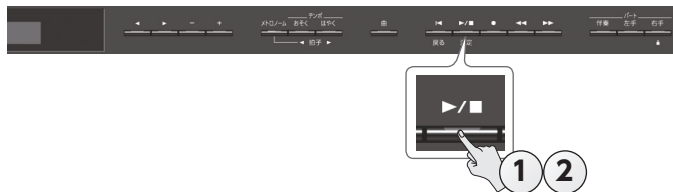
メモ

たとえば、左手の演奏を [左手] ボタン、右手の演奏を [右手] ボタンに録音することで、演奏を片手ずつ別々に録音することができます。また、録音したあとでそれぞれを録音し直すこともできます。

※ ここでパートの設定をしなかった場合は、以下のボタンに録音されます。

1 音色での演奏時	[右手] ボタン
スプリット演奏時	[右手] ボタンと [左手] ボタン
ツインピアノ演奏時	[右手] ボタンと [伴奏] ボタン
デュアル演奏時	[右手] ボタンと [伴奏] ボタン

録音を始める／保存する



1. [▶/■] ボタンを押します。

2 小節のカウント音が鳴ってから (ディスプレイ右下に小節数が「-2」「-1」と表示)、録音が始まります。

録音が始まると、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。

メモ

鍵盤を弾いて録音を始めることもできます。このときは、カウント音は鳴りません。

2. [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まり、演奏が自動で保存されます。

メモ

- 曲の名前を変更することができます (P.11)。
- 曲を削除することができます (P.12)。

ご注意!

画面に「保存中…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

録音した演奏を聴く

録音後は、録音した曲が選ばれています。

1. [▶/■] ボタンを押します。

録音した演奏の先頭から、再生が始まります。

録音した曲に重ねて録音する

SMF 録音は、パートごとに重ねて録音できます。たとえば、左手と右手の演奏を別に分けて録音したり、曲に合わせて録音したりできます。

※ 音色を変えて重ね録音するときは、SMF 再生モード (P.17) を「外部データ」に設定してください。

1. 重ね録音する曲を選びます (P.9)。

メモ

曲の一部だけを録音し直すときは、[◀◀] [▶▶] ボタンを押して、録音を開始したい小節に移動します。

2. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯し、録音待機状態になります。

このとき、New Song (新しい曲) が選ばれます。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

3. カーソル [▶] ボタンを押します。

手順 1 の曲が選ばれます。

メモ

曲のテンポと拍子は、選んだ曲の設定にしたがいます。

4. 録音するパートのパート・ボタンを押して、点滅させます。

ボタンが点灯しているパートは、録音時に再生されます。

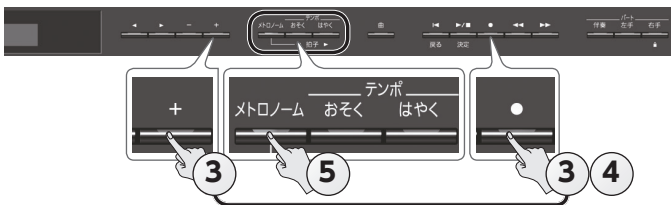
5. 「録音を始める／保存する」(P.10) の手順にしたがって、録音を始めます。

オーディオ録音する

本機での演奏を音声（オーディオ）として録音します。録音した曲をパソコンで利用することができます。

※ オーディオ録音した曲には、アコースティック・プロジェクション（P.10）の効果は再現されません。

録音の準備



1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます（P.21）。
※ オーディオ・データは内部メモリーに保存できません。
2. 演奏する音色を選びます（P.6）。
3. [●] ボタンを押しながら [+] ボタンを押して、「オーディオ」を選びます。

メモ

ファンクション・モードの「録音モード」から設定することもできます（P.17）。

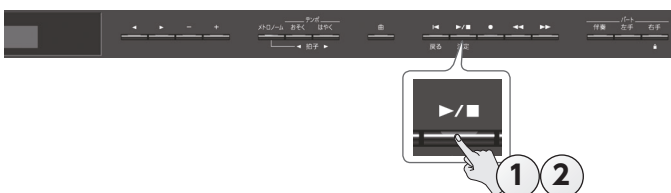
4. [●] ボタンを押します。
[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。
録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

ご注意！

録音中は、絶対に電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。

5. 必要に応じて、メトロノームを鳴らします（P.8）。

録音を始める／保存する



1. [▶/■] ボタンを押します。
録音が始まります。
録音が始まると、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。
2. [▶/■] ボタンを押します。
録音が止まり、演奏が自動で保存されます。

メモ

- 曲の名前を変更することができます（P.11）。
- 曲を削除することができます（P.12）。

録音した演奏を聴く

録音後は、録音した曲が選ばれています。

1. [▶/■] ボタンを押します。
録音した演奏の先頭から、再生が始まります。

SMF 録音した曲をオーディオに変換する

SMF 録音した曲をオーディオで録音し直すことで、パソコンでも再生できるようになります。

1. オーディオに変換する曲を選ぶ（P.9）。
2. オーディオ録音の準備をする（「録音の準備」（P.11））。
1. USB メモリーをつなぐ。
2. [●] ボタンを押しながら [+] ボタンを押して、「オーディオ」を選ぶ。
3. [●] ボタンを押す。
3. カーソル [▶] ボタンを押して、手順 1 の曲を選ぶ。
4. [▶/■] ボタンを押して、オーディオ録音を始める（「録音を始める／保存する」（P.11））。

※ 録音中に鍵盤を弾いたり、USB 端子、Input 端子、Bluetooth オーディオなどから、本機に音声が入力されたりすると、その音を含むすべての音に変換されます。また、ミュートしているパートは変換されません。

※ SMF によっては、録音したときの状態をそのまま変換できないことがあります。

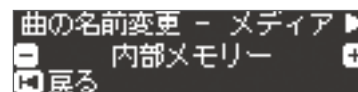
曲の名前を変更する（曲の名前変更）

保存した曲の名前を変更することができます。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲の名前変更」を選びます。

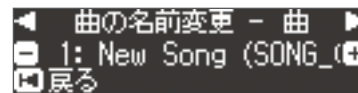
2. [▶/■]（決定）ボタンを押します。

曲の名前変更画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンを押して、変更する曲のメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。

4. [▶] ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンを押して変更する曲を選び、[▶] ボタンを押します。

6. 名前を変更します。

[◀] [▶] ボタン	文字を変更する位置を選びます。
[-] [+] ボタン	文字を変えます。

中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

7. [▶/■]（決定）ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

8. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■]（決定）ボタンを押します。

名前の変更を実行します。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

9. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

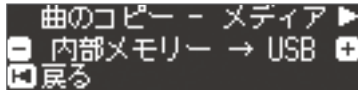
保存した曲をコピーする（曲のコピー）

内部メモリーに保存されている曲を USB メモリーにコピーします。または USB メモリーに保存されている曲を内部メモリーにコピーします。

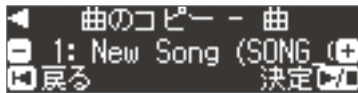
※ オーディオ・ファイルはコピーできません。

※ USB メモリーを USB Memory 端子につないでいない場合は、この操作はできません。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲のコピー」を選びます。
2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
曲のコピー画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンを押して、コピー元とコピー先のメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。
4. [▶] ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンを押して、コピーする曲を選びます。
中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。
6. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
コピーが実行されます。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

保存した曲を削除する（曲の削除）

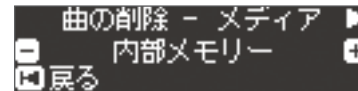
内部メモリーまたは USB メモリーに保存した曲を削除することができます。

メモ

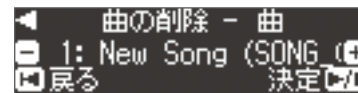
内部メモリーに保存されているすべての曲を削除するときは、メモリーを初期化してください。

※ USB メモリーの曲を削除する場合は、あらかじめ USB メモリーを USB Memory 端子につないでください。

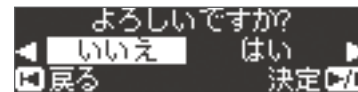
1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲の削除」を選びます。
2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
曲の削除画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンを押して、削除する曲が保存されているメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。
4. [▶] ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンを押して、削除する曲を選びます。
6. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

7. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。
削除が実行されます。

ご注意！

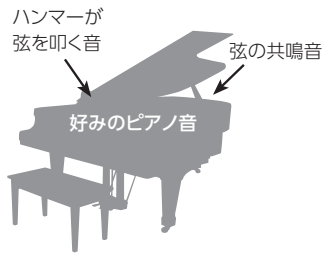
画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

8. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

♪ 自分だけのピアノ音色を作る (ピアノデザイナー)

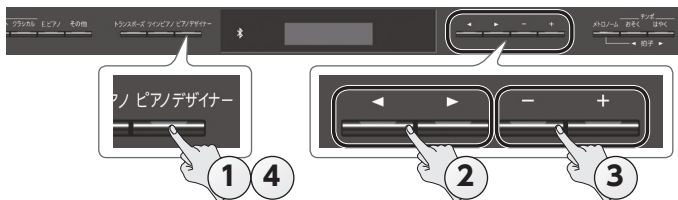
ピアノデザイナーとは

本機では、ピアノの弦、ペダルなどの共鳴音や、ハンマーが弦を叩く音など、ピアノのさまざまな音の要素を調節することにより、好みのピアノの音を作ることができます。この機能を、「ピアノデザイナー」といいます。



メモ

- [グランド] ボタンの音色のみ、ピアノデザイナーで音色を作ることができます。
- [グランド] ボタンのそれぞれの音色で、設定が保存されます。



1. [ピアノデザイナー] ボタンを押します。

ピアノデザイナー画面が表示されます。

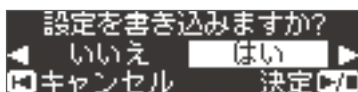


2. [◀] [▶] ボタンで、設定したい項目を選びます。

3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。

4. ピアノデザイナーを終えるときは、[ピアノデザイナー] ボタンまたは [◀] (戻る) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

5. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

ピアノデザイナーの設定が保存されます。

メモ

設定を保存しないで終了するときは、[◀] ボタンで「いいえ」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

ピアノデザイナー・パラメーター

項目	設定値	説明
大屋根	0 ~ 6	グランドピアノの大屋根の開き具合を調節します。ディスプレイ上のピアノの大屋根が閉じていくほど、柔らかい音になります。また、ディスプレイ上のピアノの大屋根が開いていくほど明るい音になります。
キーオフノイズ	オフ、1 ~ 10	鍵盤を離したときに鳴る、アクション・ノイズを調節します。値が大きいほどアクション・ノイズが大きくなります。

項目	設定値	説明
ハンマーノイズ	-2 ~ 0 ~ 2	アコースティック・ピアノを弾いたときの、ハンマーが弦を叩く音を調節します。値が大きいほどハンマーが弦を叩く音が大きくなります。
アリコート	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのアリコートが共鳴した音を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
全鍵ストリングレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノの弦共鳴 (鍵盤を弾いたときに、すでに押さえている鍵の弦が共鳴する音や、ダンパー・ペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音) を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
ダンパーレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス (弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音) を調節します。値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
キーオフレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのキー・オフ音 (鍵盤を離れたときの微妙な音) などの共鳴音を調節します。値が大きくなるほど減衰時の音質変化が大きくなります。
キャビネットレゾナンス	オフ、1 ~ 10	グランドピアノ本体の箱鳴り感を調整します。値が大きくなるほど、箱鳴りが大きくなります。
サウンドボードタイプ	1 ~ 5	アコースティック・ピアノの響きかたを選びます。響きかたの異なる、5つのタイプから選ぶことができます。
ダンパーノイズ	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのダンパーノイズ (ダンパー・ペダルを踏んで、弦が解放されたときに鳴る音) を調節します。
88 鍵チューニング (ストレッチ・チューニング)	-50 ~ 0 ~ +50	高音域はより高く、低音域はより低いピアノ独特の調律手法 (ストレッチ・チューニング) の設定になります。
88 鍵ボリューム	-50 ~ 0	1 鍵ごとの音量を調節できます。値が大きくなるほど音量が大きくなります。
88 鍵キャラクター	-5 ~ 0 ~ +5	1 鍵ごとの音色を調節できます。値が大きいほど硬い音になり、小さくすると柔らかい音になります。
設定のリセット		選んでいる音色のピアノデザイナーの設定を、工場出荷時の値に戻すことができます。 1. [▶/■] (決定) ボタンを押します。 中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。 2. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。 工場出荷時の値に戻ります。

88 鍵設定のしかた

1. 88 鍵設定の項目を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。
2. 設定する鍵を弾いてから、[-] [+] ボタンで設定値を変えます。

メモ

[◀] [▶] ボタンで、他の 88 鍵設定の項目に移動することができます。

3. [◀] (戻る) ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。

アリコートとは?

アリコートとは、グランドピアノにつけられることがある共鳴弦です。共鳴弦は直接ハンマーで叩かれるのではなく、他の弦の振動に共鳴して鳴ります。弦の倍音を響かせることで、豊かで輝かしい音を得ることができます。このような共鳴弦はおおよそ C4 より上の音域の弦にだけついています。この共鳴弦にはダンパー (音を止める機構) がないので、鍵盤を弾いたあと指を上げて弦の音を止めても、共鳴弦の音だけ残ることになります。

♪ ピアノの設定を読み込む／保存する

USB メモリーに保存されたピアノの設定を読み込んだり、自分で作ったピアノの設定を USB メモリーに保存したりすることができます。

メモ

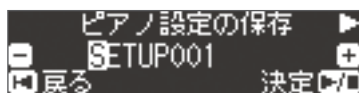
本機で作られたピアノ設定のみ読み込むことができます。

ピアノ設定で保存される設定

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.6
音の響き	P.6
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.6
音の明るさ	P.6
キータッチ	P.6
ハンマーレスポンス	P.6
ピアノデザイナーの設定	P.13
マスターチューニング	P.16
調律法	P.16
調律法 主音	P.16
ボリュームリミット	P.17

ピアノ設定を保存する（ピアノ設定の保存）

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます (P.21)。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ピアノ設定の保存」を選びます。
3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
ピアノ設定の保存画面が表示されます。



4. ピアノ設定の名前を変更します。

[◀] [▶] ボタン	文字を変更する位置を選びます。
[←] [→] ボタン	文字を変えます。

5. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
保存が実行されます。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

6. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

ピアノ設定を読み込む（ピアノ設定の読込）

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます (P.21)。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ピアノ設定の読込」を選びます。
3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
ピアノ設定の読込画面が表示されます。



4. [+][-] ボタンを押して、読み込むピアノ設定を選びます。
5. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

6. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。
読み込みが実行されます。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

♪ 便利な機能

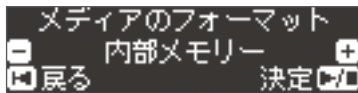
メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）

内部メモリーまたは USB メモリー（別売）に保存されているすべてのファイルを消去することができます。

ご注意！

- 初期化すると、内部メモリーまたは USB メモリーに保存されている曲はすべて消えてしまいます。
- 内部メモリーの内容以外の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、ファクトリーリセット（P.15）をしてください。

1. USB メモリーを初期化する場合は、USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます（P.21）。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「メディアのフォーマット」を選びます。
3. [▶/■]（決定）ボタンを押します。
メディアのフォーマット画面が表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

4. [-] [+] ボタンを押して、初期化するメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。
5. [▶/■]（決定）ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

6. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■]（決定）ボタンを押します。
初期化が実行されます。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に USB メモリーを抜いたり電源を切ったりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）

本機に保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。この機能を「ファクトリーリセット」といいます。

ご注意！

「ファクトリーリセット」後、それまで記憶していた設定はすべて消え、お買い上げ時の設定になります。

メモ

この操作をしても、内部メモリーまたは USB メモリー（別売）の曲は消えません。内部メモリーや、USB メモリーの曲をすべて消すときは「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.15）をご覧ください。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ファクトリーリセット」を選びます。
2. [▶/■]（決定）ボタンを押します。
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

3. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■]（決定）ボタンを押します。
ファクトリーリセットが実行されます。

ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

4. 電源を入れ直します（P.4）。

自動に保存される設定

本機は、以下の設定が自動で保存されます。

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.6
Bluetooth 機能のすべての設定	P.19
鍵盤蓋による電源オフ	P.18
オートオフ	P.18

自動メモリーバックアップで保存される設定

自動メモリーバックアップでは、以下の設定が保存されます。

設定	ページ
音の響き	P.6
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.6
音の明るさ	P.6
キータッチ	P.6
ハンマーレスポンス	P.6
バランス（スプリット、デュアル）	P.7
ツインピアノ・モード	P.7
メトロノーム（音量、音色、強拍）	P.8
マスターチューニング	P.16
調律法	P.16
調律法 主音	P.16
インプットボリューム	P.16
SMF 再生モード	P.17
右ペダルパート	P.17
MIDI 送信チャンネル	P.17
ディスプレイコントラスト	P.17
ボリュームリミット	P.17
言語	P.18

🎵 いろいろな設定をする（ファンクション・モード）

ファンクション・モードの基本操作

1. [設定] ボタンを押します。
[設定] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. [◀] [▶] ボタンで、設定したい項目を選びます。

メモ
選んだ項目によっては、さらに項目を選ぶ画面が表示される場合があります。
3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。
4. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

表示	設定値	説明
マスターチューニング	他の楽器と音の高さを合わせる（マスターチューニング）	
	他の楽器とアンサンブルするときなど、本機の基準ピッチを他の楽器に合わせることができます。 基準ピッチとは、一般的に、中央 A（A4）の鍵盤を弾いたときの音の高さのことをいいます。他の楽器とアンサンブル演奏をするときには、きれいなアンサンブルにするためにお互いの基準ピッチを合わせます。他の楽器と基準ピッチを合わせること「チューニング」といいます。 415.3Hz ～ 440.0Hz ～ 466.2Hz	
調律法	調律法を変える（調律法）	
	バロックなどの古典音楽を当時の調律法で演奏することができます。 現在では、一般に平均律（現在最も一般的な調律法）を前提に作曲され、演奏されるのがあたりまえとなっていますが、古典音楽の時代にはいろいろな調律法が存在していました。当時の調律法で演奏してみると、その曲が本来もっている和音の響きを味わうことができます。	
	平均律	オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。現在のピアノで最も一般的な調律法です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	純正調（長）	主要 3 和音が濁りのない調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きをもちます。
	純正調（短）	純正調は長調と短調で調律が異なります。
	ピタゴラス音律	哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、シンプルな旋律の曲に向きます。
	キルンベルガー I	純正調と同様に主要 3 和音が純正な調律です。この調律法に適した調で書かれた曲を演奏すると美しい響きとなります（キルンベルガー第一法）。
	キルンベルガー II	キルンベルガー第一法を修正して、使用できる調の制限を少なくした調律法です（キルンベルガー第二法）。
	キルンベルガー III	中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります（キルンベルガー第三法）。
	中全音律	長 3 度を純正に取り、5 度を純正よりわずかに狭めた調律法です。純正調では大全音と小全音の二種類の全音があるのに対し、この調律では一種類の全音（中全音）のみになります。限定された調の中で転調できます。
	ベルクマイスター	8 つの純正 5 度と 4 つの狭い 5 度からなる調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります（ベルクマイスター第一技法第三番）。
	アラビア音階	アラビア音楽に適した調律です。
調律法 主音	調律法の主音を設定する（調律法主音）	
	平均律以外の調律法で演奏するときに、演奏する曲の調に合わせて主音（長調ならド、短調ならラにあたる音）を選びます。 平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。 C ～ B	
Bluetooth オーディオ	[Bluetooth オーディオ機能を使う]（P.19）をご覧ください。	
Bluetooth 譜めくり / MIDI	[譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する]（P.20）をご覧ください。	
Bluetooth ID	[Bluetooth ID を設定する]（P.19）をご覧ください。	
曲ボリューム SMF	曲（SMF）の音量を調節する（曲ボリューム SMF）	
	曲（SMF）の音量を調節します。 ※ SMF 再生モードを「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。 0 ～ 10	
曲ボリューム AUDIO	曲（オーディオ）の音量を調整する（曲ボリューム AUDIO）	
	曲（オーディオ）の音量を調節します。 0 ～ 10	
インプットボリューム	オーディオ再生機器の音量を調節する（インプットボリューム）	
	Input 端子にオーディオ再生機器をつないだとき、オーディオ再生機器からの音量を調節します。 0 ～ 10	

表示	設定値	説明
SMF 再生モード	曲（SMF）再生時のモードを設定する（SMF 再生モード）	
	曲（SMF）再生時に、内蔵曲と外部データのどちらに最適な設定にするかを選びます。	
	メモ [▶/■] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、SMF 再生モードを切り替えることもできます。 ※ SMF 再生モードを「外部データ」に設定しているときは、アコースティック・プロジェクション（P.10）の効果は再現されません。また、ピアノデザイナーの一部の効果もかかりません。	
	自動選択	再生する曲に合わせて、SMF 再生モードを「内蔵曲」か「外部データ」に自動で切り替えます。
	内蔵曲	再生する曲に合わせて、最適な音色に切り替わります。 内蔵曲や本機で録音した曲を再生するときに最適です。
	外部データ	曲を再生しても、現在選んでいる音色で演奏できます。 市販のミュージックデータなどの外部データを再生するときに最適です。
録音モード	録音するときの形式を選ぶ（録音モード）	
	録音するときに SMF で録音するか、オーディオで録音するかを選びます。	
	メモ [●] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、録音モードを切り替えることもできます。	
	SMF	パートを分けて録音します。1 つのパートだけを録り直したり、別のパートに重ねて録音したりできます。
	オーディオ	音声データとして録音します。録音した曲をパソコンで利用することができます。
曲の名前変更	「曲の名前を変更する（曲の名前変更）」（P.11）をご覧ください。	
曲のコピー	「保存した曲をコピーする（曲のコピー）」（P.12）をご覧ください。	
曲の削除	「保存した曲を削除する（曲の削除）」（P.12）をご覧ください。	
ピアノ設定の保存	「ピアノ設定を保存する（ピアノ設定の保存）」（P.14）をご覧ください。	
ピアノ設定の読込	「ピアノ設定を読み込む（ピアノ設定の読込）」（P.14）をご覧ください。	
右ペダルパート	ペダルの効果のかけかたを変える（右ペダルパート）	
	デュアル演奏やスプリット演奏のときに右ペダルを踏むと、2 つの音色の両方にペダルの効果がかかりますが、効果をかける音色を選ぶことができます。	
	右手 & 左手	両方の音色に有効
	右手	音色 1（デュアル演奏時）／右手音色（スプリット演奏時）にのみ有効
	左手	音色 2（デュアル演奏時）／左手音色（スプリット演奏時）にのみ有効
中央ペダル機能	ペダルののはたらきを変える（中央ペダル機能）	
	電源投入時、中央のペダルはソステヌート・ペダルとしてはたらきます（P.5）。これを、さまざまなのはたらきに変えることができます。 ※ ペダルの機能は、「中央／左ペダル機能」よりも「譜めくり（P.20）」が優先されます。	
	ソステヌート	ソステヌート・ペダルのはたらきをします。
	再生／停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
	レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。
左ペダル機能	ペダルの効果のかけかたを変える（左ペダル機能）	
	電源投入時、左側のペダルはソフト・ペダルとしてはたらきます（P.5）。これを、さまざまなのはたらきに変えることができます。 ※ ペダルの機能は、「中央／左ペダル機能」よりも「譜めくり（P.20）」が優先されます。	
	ソフト	ソフト・ペダルのはたらきをします。
	再生／停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
	レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。
ディスプレイコントラスト	ディスプレイの明るさを調節する（ディスプレイコントラスト）	
	本機のディスプレイの明るさを調節することができます。 1 ～ 10	
ボリュームリミット	ボリュームの最大値を設定する（ボリュームリミット）	
	ボリュームの最大値を設定することができます。誤って [ボリューム] ボタンを操作して、必要以上に音量が大きくなってしまふことを防ぐことができます。 20、40、60、80、100	
ローカルコントロール	シーケンサーとつないだときの 2 度鳴りを防ぐ（ローカルコントロール）	
	USB で MIDI シーケンサーを接続したときには、この項目で、ローカル・オフに設定します。 通常のシーケンサーはスルー機能がオンに設定されているため、鍵盤を弾いた音が 2 重に重なって聴こえたり、途切れたりします。これを防ぐために鍵盤と内部の音源を切り離すことを、「ローカル・オフ」といいます。	
	オフ	ローカルコントロールがオフになります。 鍵盤が内部の音源と切り離された状態です。鍵盤を弾いても音は鳴りません。
	オン	ローカルコントロールがオンになります。 鍵盤が内部の音源とつながっている状態です。
MIDI 送信チャンネル	MIDI 送信チャンネルを変える（MIDI 送信チャンネル）	
	本機が送信する MIDI チャンネルを設定します。 なお、本機は 1 ～ 16 のすべてのチャンネルを受信します。 オフ、1 ～ 16	

表示	設定値	説明
言語 (Language)	ディスプレイに表示される言語を変える (言語 / Language)	
	ディスプレイに表示される音色名や設定などの言語を選ぶことができます。	
	English、Japanese	
鍵盤蓋による電源オフ	フタを閉めたときに電源をオフにする (鍵盤蓋による電源オフ)	
	フタを閉めたときに、電源をオフにするかしないかを選ぶことができます。	
	無効	フタを閉めても、電源はオフになりません。 電源をオフにするときは、[🔊] ボタンを押します。 ※ オートオフを設定している場合は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。
	有効	フタを閉めると、電源がオフになります。
オートオフ	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オートオフ)	
	本機は演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます (工場出荷時の設定)。	
	自動で電源を切る必要がない場合は、「オートオフ」を「オフ」に設定します。 オフ、10、30、240 (分)	
自動メモリーバックアップ	自動で設定を保存する (自動メモリーバックアップ)	
	電源を入れ直しても設定が変わらないように、自動で設定を保存しておくことができます。	
	オフ	設定を保存しません。電源を入れ直すと設定が初期値に戻ります。
	オン	自動で設定を保存します。 保存される設定については、「自動メモリーバックアップで保存される設定」(P.15) をご覧ください。
メディアのフォーマット	「メモリーを初期化する (メディアのフォーマット)」(P.15) をご覧ください。	
ファクトリーリセット	「お買い上げ時の設定に戻す (ファクトリーリセット)」(P.15) をご覧ください。	
バージョン	本機のシステム・プログラムのバージョンを表示します。	

Bluetooth® (ブルートゥース) 機能を使う



こんなことができます

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下、「モバイル機器」と呼びます）と本機が無線につながり、以下のことができます。

Bluetooth オーディオ機能

モバイル機器で再生した音楽データを、本機のスピーカーで聞く。

譜めくり機能

本機からモバイル機器用の譜面表示アプリを操作する。

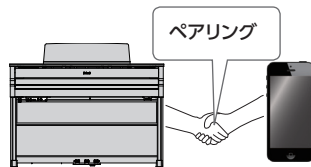
MIDI データの送受信

本機とモバイル機器間で MIDI データをやりとりする。

Bluetooth オーディオ機能を使う

モバイル機器を登録する（ペアリング）

「ペアリング」とは、使いたいモバイル機器を本機に登録する（お互いに認証する）ための手続きです。
モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスで本機から再生するための設定をします。



メモ

- 本機とのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。ペアリングが済んだモバイル機器と本機をつなげるには、「ペアリング済みのモバイル機器を接続する」(P.19) をご覧ください。
- ファクトリー・リセット (P.15) をした場合は、再度ペアリングが必要です。
- 以下の操作説明は一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。

メモ

本機を複数台お持ちの場合、ペアリングする機器のみ電源を入れてください（他の機器の電源は切ってください）。

2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「Bluetooth オーディオ」を選びます。

3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。

Bluetooth オーディオ画面が表示されます。

4. [◀] [▶] ボタンで「Bluetooth ペアリング」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

「ペアリング中 ...」と表示され、本機はモバイル機器からの応答を待ちます。

メモ

ペアリングをやめる場合は、[◀] (戻る) ボタンを押します。

5. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



メモ

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

6. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「LX-17 Audio」または「LX-7 Audio」をタップします。

本機とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「LX-17 Audio」または「LX-7 Audio」が追加されます。

メモ

モバイル機器の画面に「パス・キー」の入力を要求された場合は「0000」（ゼロを4つ）を入力してください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

Bluetooth ID を設定する

Bluetooth 接続したアプリケーションに表示される、本機のデバイス名の末尾の数字を設定します。

同じ楽器を複数お持ちの場合に、識別することができるため便利です。

- [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「Bluetooth ID」を選びます。
- [▶/■] (決定) ボタンを押します。
- [−] [+] ボタンで、設定値を変えます。

設定値	説明
0 ~ 99	例) LX-17 の場合 「0」に設定: 「LX-17 Audio」、 「LX-17」 (初期値) 「1」に設定: 「LX-17 Audio1」、 「LX-17_1」

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「LX-17 Audio」または「LX-7 Audio」をタップしてください。
- 切断するには、本機の Bluetooth オーディオ機能を「オフ」 (ファンクション・モード → 「Bluetooth オーディオ」 → 「Bluetooth オーディオ」を「オフ」) にするか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

Bluetooth オーディオのボリュームを調節する

通常は、お使いのモバイル機器側でボリュームを調整します。それでも思ったようなボリュームにならないときは、以下の操作でボリュームを調節します。

1. 「モバイル機器を登録する（ペアリング）」 (P.19) の手順 2 ~ 3 の操作をします。

2. [◀] [▶] ボタンで「Bluetooth ボリューム」を選び、[−] [+] ボタンでボリュームを調節します。

譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する

本機のペダルでモバイル機器用の譜面表示アプリを操作（譜めくり）する設定をします。

1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。

メモ

本機を複数台お持ちの場合、ペアリングする機器のみ電源を入れてください（他の機器の電源は切ってください）。

2. [設定] ボタンを押して、[◀ ▶] ボタンで「Bluetooth 譜めくり / MIDI」を選びます。

3. [▶/■]（決定）ボタンを押します。

4. [◀ ▶] ボタンで「Bluetooth 譜めくり / MIDI」を選び、[-] [+] ボタンで「譜めくりペダル」を選びます。

メモ

ここで「譜めくりペダル& MIDI」を選べると、譜めくり機能と MIDI の送受信機能を同時に使用できます。
たとえば、譜めくりをペダルで操作しながら、MIDI を受信して本機から鳴らすことができます。

5. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

6. モバイル機器の [LX-17] または [LX-7] をタップします。

本機とモバイル機器がペアリングされます。ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストにお使いの機種名のモデル名（[LX-17] または [LX-7]）が追加されます。

メモ

- iOS デバイス（iPhone や iPad）をお使いの場合は、iOS デバイスの画面に「ペアリングの要求」が表示されます。[ペアリング] ボタンをタップしてください。
- モバイル機器の画面に「パス・キー」の入力を要求された場合は 0000（ゼロを 4 つ）を入力してください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

モバイル機器の譜面表示アプリを起動すると、ソステヌート・ペダルで次のページ、ソフト・ペダルで前のページに譜めくりします。
※ ペダルの機能は、「中央 / 左ペダル機能（P.17）」よりも「譜めくり」が優先されます。

モバイル機器にキーボードが表示されなくなったときは

譜めくり機能を使うと、使用するモバイル機器のアプリによってはキーボードが表示されない（キーボードが使えない）ことがあります。
譜めくり機能を使いながら、モバイル機器のキーボードを表示するには、本機の [伴奏] ボタンを押しながら [左手] ボタンを押します。
モバイル機器のキーボードを消すには、再度 [伴奏] ボタンを押しながら [左手] ボタンを押します。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

本機とモバイル機器が無線につながります。

メモ

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されているモデル名（[LX-17] または [LX-7]）をタップしてください。
- 切断するには、本機の Bluetooth 譜めくり機能を「オフ」（ファンクション・モード → 「Bluetooth 譜めくり / MIDI」 → 「Bluetooth 譜めくり& MIDI（*1）」を「オフ」にするか、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。

(*1) ファンクション・モードの「Bluetooth 譜めくり / MIDI」の設定によっては、「Bluetooth 譜めくり」または「Bluetooth MIDI」と表示される場合があります。

譜めくり機能の操作キーを変える

お使いの譜面表示アプリによって、譜めくりのキー操作が異なります。本機からどのキーで譜めくり操作をするかを選ぶことができます。

1. 「譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する」（P.20）の手順 2 ～ 3 の操作をします。
2. [◀ ▶] ボタンで「譜めくりペダルアサイン」を選び、[-] [+] ボタンで機能を選びます。

設定	説明
カーソル上 / 下	キーボードの [↑] [↓] キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。
ページ上 / 下	キーボードの [Page Up] [Page Down] キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。
カーソル左 / 右	キーボードの [←] [→] キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。

3. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

譜めくりの操作方法を変える

譜めくりするときのペダルの踏みかたを選ぶことができます。

1. 「譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する」（P.20）の手順 2 ～ 3 の操作をします。
2. [◀ ▶] ボタンで「譜めくりモード」を選び、[-] [+] ボタンで機能を選びます。

設定値	説明
1 回	1 回ペダルを踏むと、譜めくりします。
2 回	2 回連続で素早くペダルを踏むと、譜めくりします。 1 回踏むと、通常のペダルの動作をします。

3. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

MIDI データのやりとりをする

本機とモバイル機器の間で MIDI データの送受信をする設定をします。

メモ

MIDI データの送受信は、iOS デバイスのみに対応しています。

1. 「譜面アプリの譜めくりをペダルで操作する」（P.20）の手順 1 ～ 3 の操作をします。
2. [◀ ▶] ボタンで「Bluetooth 譜めくり / MIDI」を選び、[-] [+] ボタンで「MIDI」を選びます。



メモ

- 機能を切り替えると、モバイル機器との接続ができなくなることがあります。そのときは以下の操作をします。
- モバイル機器の Bluetooth 画面で本機の登録を解除する
 - モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにし、再度オンにする

3. モバイル機器のアプリ（GarageBand 等）の設定で、本機と接続をします。

本機とモバイル機器との接続の状態

接続されたモバイル機器の機能に応じて、本機のディスプレイには以下のアイコンが表示されます。

機能	表示されるアイコン
Bluetooth オーディオ機能	 (AUDIO)
譜めくり機能	 (PAGE)
MIDI データの送受信	 (MIDI)
譜めくり機能と MIDI データの送受信	 (P+MIDI)

楽器をつなぐ

Input 端子

オーディオ・プレーヤーなどのオーディオ再生機器をつなぐと、オーディオ再生機器の音を本機から鳴らすことができます。

Input 端子につないだ機器の音量は、インプットボリューム (P.16) で調整することができます。



Output 端子

アンプ内蔵スピーカーなどをつなぐと、それらから本機の音を鳴らすことができます。



※ 本体の電源を切るときは、必ず Output 端子に接続した機器の電源を先に切ってください。

USB Memory 端子

USB メモリーを使うと、以下のことができます。

- パソコンにある WAVE ファイルや MIDI ファイル (SMF) を本機で再生できます。
- 本機の演奏をオーディオ録音できます。
- オーディオ録音した曲を、パソコンで再生できます。

※ USB メモリーは挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

※ USB メモリーのアクセス・ランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。

※ USB メモリーは、ローランドが販売しているものを使用してください。それ以外の USB メモリーを使用したときの動作は保証できません。



Phones 端子



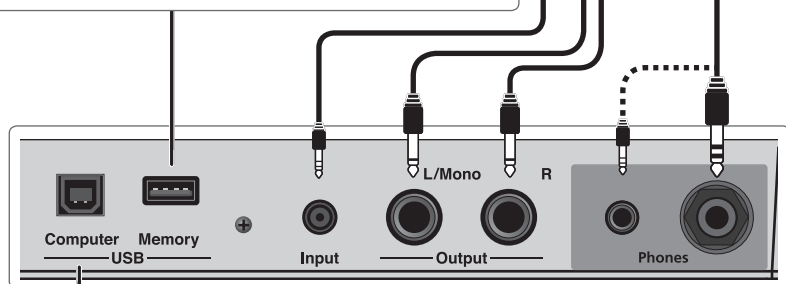
ステレオのヘッドホンをつなぎます。

本機にはヘッドホン端子が 2 つあるので、2 人で同時にヘッドホンを使うことができます。ピアノ本体から音が聞こえるようなヘッドホン 3D アンビエンス効果がかけられます。

※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果はピアノ音色以外には効きません。

※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果はオフにすることもできます (P.6)。

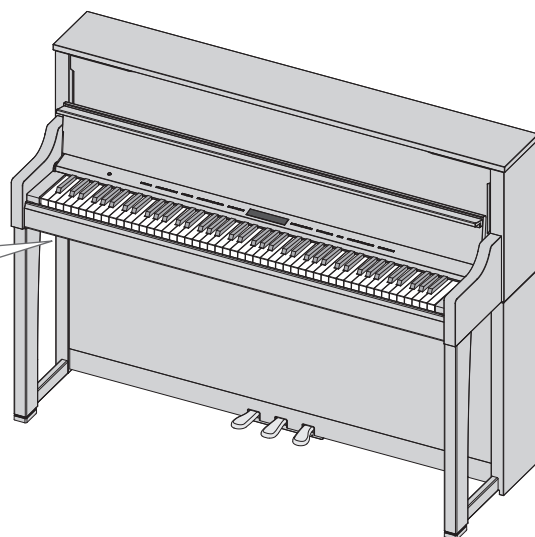
※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果は [音の響き] ボタンで調節できます。



USB Computer 端子

市販の USB ケーブルを使用して、本機の USB Computer 端子とお使いのパソコンの USB 端子をつなぐと、以下のことができます。

- MIDI に対応したソフトウェアで再生した SMF を本機で鳴らすことができます。
- シーケンサー・ソフトウェア (別売) との間で MIDI 情報をやりとりして、より多彩な音楽制作、編集などを行うことができます。



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

安全上のご注意

警告

オートオフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください（P.18）。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

移動するときの注意

本機を移動するときには以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。

- 機器本体とスタンドを固定しているネジがゆるんでいないか、確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。
- スタンドのアジャスターを上げる（P.5）。
- 蓋を閉じる。
- 譜面立てを倒す。



指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するときは、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視／指導してください。

- 譜面立て（P.4）
- 屋根（P.4）
- ペダル（P.5）



注意

椅子を使用するときの注意

椅子を使用するときには、必ず次の事項を守ってください。

- 椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない。
- 2 人以上で腰掛けない。
- 腰掛けたままで、高さ調節しない。
- 椅子の足を止めているボルトがゆるんでいたら、腰掛けない。（ゆるみがあるときは随時付属の工具で締め直してください）
- シート下の隙間（昇降装置の金属部）には絶対に手を入れないでください。手をはさんだりけがをしたりする恐れがあります。



小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪戯で飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- 付属品
- ネジ



使用上のご注意

設置について

- 至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。
- 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。

お手入れについて

- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。木目にそって全体を均一の力で拭くようにします。同じところばかり強くこすると、仕上げを損なうことがあります。
- 本機のペダルは真鍮（しんちゅう）製です。真鍮は酸化して黒ずむ性質があります。酸化した場合のお手入れには、市販の金属みがきをお使いください。

鍵盤の取り扱いについて

- ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなります。
- シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ひどい汚れを落とすときは、研磨剤入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷が付かないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

お手入れについて（鏡面仕上げ）

- 本機の塗装は鏡面仕上げになっており、美しい表面は、高級木工家具同様デリケートですので、正しい定期的なお手入れが必要です。必ず以下に従ってお手入れをしてください。
 - お手入れは、柔らかい布やピアノ用の毛ばたきで軽く拭いてください。小さな砂ばこりでも、強く拭くと細かなすり傷が付くことがありますのでご注意ください。
 - 仕上げ面の艶（つや）がなくなってきたときは、外装手入れ剤を含ませた柔らかい布でムラなく拭きあげてください。
 - 各種洗剤などは、塗装面を変質させ、ひび割れなどの原因となりますので使用しないでください。また、化学ぞうきんは使わないでください。
- 外装手入れ剤についてのご注意
 - ご使用方法については、外装手入れ剤の取扱説明書をご覧ください。
 - 必ずピアノ鏡面塗装用のものをご利用ください。それ以外のものを利用すると、傷や変形・変色などの原因となります。お求めは、最寄りの楽器店にご相談ください。
 - 本機の鏡面仕上げ部分にのみ使用し、表面全体を均一の力で丹念に拭いてください。同じところばかり強くこすると、仕上げ面の光沢を損なう恐れがあります。
 - 幼児の手の届かないところに保管してください。万が一飲み込んでしまった場合は、直ちに吐かせてください。その後、医師の診断を受けてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に置いて使うときの注意
 - 本機やモバイル機器に傷が付かないよう、端末の取り扱いには十分注意してお使いください。
 - モバイル機器の転倒や落下防止のため、譜面立てやフタを動かさないでください。
- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がからないように注意しましょう。
- 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱い前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす

- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eCROS™」が搭載されています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.t-engine.org）の T-License 2.0 に基づく μT-Kernel ソースコードを利用しています。
- Roland、SuperNATURAL、Ivory Feel、BOSS は、日本およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- MIDI は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品は Jansson (http://www.digip.org/jansson/) ソースコードを使用しています。Copyright © 2009-2014 Petri Lehtinen <petri@digip.org> Released under the MIT license http://opensource.org/licenses/mit-license.php

故障かな?と思ったら

症状	確認事項	対策	ページ
ヘッドホンを使って消音しても、鍵盤を弾くときにゴトゴトと音が鳴る	鍵盤内部のハンマーの音、または床や壁が振動している音ではありませんか?	鍵盤を弾くと中のハンマーが動くことで、床や壁に振動が伝わる場合があります。振動している音を和らげるには、本機を壁から離して設置したり、市販のピアノ用防振マットを敷いたりしてみてください。	-
電源が勝手に切れる	オートオフの設定が「オフ」以外になっていませんか?	自動で電源を切る必要がない場合は、オートオフの設定を「オフ」にしてください。	P.18
電源が勝手に入る	本機はフタを開けると電源が入り、フタを閉めると電源が切れます。		P.4
電源が入らない	AC アダプターが正しくつながれていますか?		-
操作できない	パネル・ロックが設定されていませんか?	パネル・ロックを解除してください。	P.9
ペダルが効かない、または効きっぱなしになる	ペダルが正しくつながれていますか?		-
	本機の電源を入れたまま、ペダル・コードを抜き差ししていませんか?	本機の電源を切ってから、ペダル・コードを抜き差ししてください。	-
	右ペダルパートが「右手」や「左手」に設定されていませんか?		P.17
	ツインピアノがオンになっていませんか?	ツインピアノをオンにすると、右ペダルは右側鍵盤のみ、左ペダルは左側鍵盤のみに効くようになります。	P.7
	ペダルのたらしきを変えていますか?	ペダル機能(中央ペダル機能、左ペダル機能)の設定を戻してください。	P.17
USB メモリーを正しく読み書きできない	ローランドの USB メモリー (別売) を使用していますか?	ローランドが販売する USB メモリーを使用してください。	-
外部機器から「ブーン」という音が鳴る	外部機器の電源を複数のコンセントにつないでいませんか?	外部機器の電源は、必ず同じコンセントにつないでください。	-
Input 端子につないだ機器の音量が小さい	インプットボリュームが小さくなっていませんか?		P.16
音が鳴らない	つないでいる機器の音量が小さくなっていませんか?		-
	アンプやスピーカー、ヘッドホンなどが正しくつながれていますか?		P.21
	音量が小さくなっていませんか?		P.6
	Phones 端子にヘッドホンや変換プラグを挿していませんか?		-
	Phones 端子にヘッドホンなどをつないでいるときは、スピーカーから音が出ません。		-
	ローカルコントロールが「オフ」になっていませんか?	ローカルコントロールを「オン」にしてください。	P.17
	ツインピアノのモードが「セパレート」になっていませんか?		P.7
	ツインピアノをセパレート・モードでお使いのとき、左側領域の鍵盤で弾いた音は右側の Phones 端子につないだヘッドホンからは聞こえません。同様に、右側領域の鍵盤を弾いた音は、左側の Phones 端子につないだヘッドホンからは聞こえません。		
	曲を再生しても音が鳴らない	曲のボリュームが「0」になっていませんか?	P.16
	音が正しく鳴らない		
音が小さい	スピーカー・ケーブルが正しくつながれていますか?		-
高音部の音しか鳴らない	トランスポーズの設定をしていますか?		P.7
鍵盤や曲の音程、ピッチがずれている	マスターチューニングの設定は適切ですか?		P.16
	調律法の設定は適切ですか?		P.16
	88 鍵チューニングの設定は適切ですか?		P.13
	ダンパー・ペダルを踏んで、多くの音を鳴らしていませんか?		-
弾いた音が途切れる	また、デュアル演奏をしたり曲と一緒に演奏したりしていませんか?		-
鍵盤を弾くと、2 つの音が鳴る	デュアル演奏の状態になっていませんか?	【デュアル】ボタンを押してデュアル演奏を解除してください。	-
	外部シーケンサー等につなげていませんか?	別の音源から鳴らないようにするには、DAW のソフト・スルーの設定を「オフ」にしてください。	-
		ローカルコントロールが「オン」になっている場合は、ローカルコントロールを「オフ」にしてください。	P.17
エフェクトが効かない	音色の組み合わせによっては、デュアル演奏の音色 2 やスプリット演奏の左手音色にエフェクトは効きません。		-
音の響き効果をオフにしても残響音がする	音の響き効果をオフにしても、アコースティック・ピアノ本来の響きが残ります。キャビネット・レゾナンスを調節することで残響音を少なくすることもできます。		P.13

症状	確認事項	対策	ページ
高音部で、ある鍵盤から音が急に変わる	アコースティック・ピアノの特徴を再現しているため、故障ではありません。 鍵あたりの弦の本数や、巻線／単線の境目では音色が変わります。		-
「キーン」という音がする	スピーカー・ケーブルが正しくつながれていますか?		-
	ヘッドホンからは聞こえないとき：本機に何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。		P.13
	ヘッドホンからも聞こえるとき：「キーン」という金属的な響きを少なくするには、以下の設定を調整してください。		
	・アリコート ・全鍵ストリングレゾナンス ・音の響き		
音がおかしい／ビリビリと共鳴する	音量を最大にしていますか?	音量を小さくしてください。	P.6
	ヘッドホンからも聞こえるとき：本機に何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。		
	ヘッドホンからは聞こえないとき：スピーカーから出力される音が大きいために、本機周辺のもので共鳴しています。共鳴を抑えるには、次のことにご注意ください。		-
	・本機を壁などから 10 ～ 15cm 離して設置する。 ・音量を抑える。 ・共鳴している器具などから遠ざける。		
曲を再生すると選んでいる音色が変わってしまう	SMF 再生モードの設定が「内蔵曲」になっていませんか?	SMF 再生モードを「外部データ」に設定してください。	P.17
曲が正しく鳴らない			
録音するとピアノの音質が変わってしまう	ピアノデザイナーで作った音色で録音していませんか?	ピアノデザイナーの一部の設定は、曲を再生したときに再現されないことがあります。	-
	オーディオ録音した音を再生していませんか?	SMF 録音してください。	P.10
曲の中の、ある楽器の音だけが鳴らない	パート・ボタンが消えていますか?	パート・ボタンを押して点灯させてください。	P.9
曲の音量が小さい／録音と再生で音量が違う	曲のボリュームの値が小さくなっていませんか?		P.16
USB メモリーに保存されている曲を再生できない	再生できるオーディオ・ファイルですか?		
	再生できるオーディオ・ファイルの形式は、以下のとおりです。		-
	・拡張子が「.WAV」 ・16 ビット・リニア ・サンプリング・レートが「44.1kHz」 拡張子は「.MID」ですか?		-
USB メモリーの曲名が表示されない	ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみにいませんか?		-
	拡張子は「.MID」ですか?		-
録音できない			
SMF 録音できない	パート・ボタンの中から、録音するボタンを選びましたか?		P.10
オーディオ録音できない	USB Memory 端子に USB メモリーをつないでいますか?		-

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項／対策		ページ
端末の Bluetooth デバイスに、本機が現れない	Bluetooth 機能が「オフ」になっていませんか？	Bluetooth 機能を「オン」にしてください。 Bluetooth オーディオ機能： ファンクション・モード → 「Bluetooth オーディオ」 → 「Bluetooth オーディオ」を「オン」 Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能： ファンクション・モード → 「Bluetooth 譜めくり／MIDI」 → 「Bluetooth 譜めくり& MIDI (*1)」を「オン」 (*1) ファンクション・モードの「Bluetooth 譜めくり／MIDI」の設定によっては、「Bluetooth 譜めくり」または「Bluetooth MIDI」と表示される場合もあります。	P.19
	Bluetooth オーディオ機能が「オン」の場合	「(モデル名) Audio」というデバイスが現れます。	-
	Bluetooth 譜めくり機能が「オン」、Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能が「譜めくりペダル」または「譜めくりペダル& MIDI」の場合	「(モデル名)」というデバイスが現れます。	
	Bluetooth 譜めくり機能が「オン」、Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能が「MIDI」または「譜めくりペダル& MIDI」の場合	GarageBand などのアプリ内の設定から確認できます。	
Bluetooth オーディオに接続できない	モバイル機器側の Bluetooth 設定に本機がデバイスとして見えている場合	デバイスの登録を一度削除してから、 Bluetooth オーディオ機能を「オフ」→「オン」し、ペアリングし直してください。	P.19
	本機がデバイスとして見えていない場合	モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンしてから、本機からペアリングを開始し、ペアリングし直してください。	
Bluetooth 譜めくりに接続できない	Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能を切り替えると、モバイル機器との接続ができなくなることがあります。		-
	モバイル機器側の Bluetooth 設定に本機がデバイスとして見えている場合	Bluetooth 設定のデバイスを削除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンし、接続し直してください。	P.19
	本機がデバイスとして見えていない場合	モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンしてから、接続し直してください。	
Bluetooth MIDI に接続できない	Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能を切り替えると、モバイル機器との接続ができなくなることがあります。		
	Bluetooth 設定のデバイスを削除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンし、接続し直してください。		
MIDI で接続できない	Bluetooth MIDI は、iOS のみ対応しています。また、モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、GarageBand などのアプリ内の設定から接続してください。		
譜めくり機能と MIDI 機能でペアリングできない	譜めくり機能と MIDI 機能は、モバイル機器側でデバイスを選んで最初の接続時にペアリングします。本機からペアリング開始の操作は必要ありません。		-
譜めくり機能と MIDI 機能を同時に使用できない	Bluetooth 譜めくり／MIDI 機能を、「譜めくりペダル& MIDI」に設定してください。		
ペアリングしたモバイル機器がつかない	接続してもすぐに切れてしまうときや、譜めくり機能と MIDI データの送受信機能を切り替えたときは、 Bluetooth デバイスの Bluetooth スイッチを一度オフにし再度オンにすると、接続される場合があります。		
モバイル機器にキーボードが表示されなくなった(使えなくなった)	譜めくり機能を使うと、使用するモバイル機器のアプリによってはキーボードが表示されない(キーボードが使えない)ことがあります。譜めくり機能を使いながら、モバイル機器のキーボードを表示するには、本機の [伴奏] ボタンを押しながら [左手] ボタンを押します。モバイル機器のキーボードを消すには、再度、[伴奏] ボタンを押しながら [左手] ボタンを押します。		

メモ

内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/support/>

🎵 こんな表示が出たら (エラー・メッセージ)

表示	意味
エラー 2	書き込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。
	別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.15)。
	内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 10	USB メモリーが挿入されていません。
	USB メモリーを挿入してから、もう一度操作してください。 内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 11	保存先の空き容量が足りません。 別の USB メモリーを挿入するか、不要なファイルを削除して、もう一度操作してください。
エラー 14	読み込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。
	別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.15)。 内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 15	ファイルを読むことができません。本機が対応していないデータ形式です。
エラー 18	対応していないオーディオ・フォーマットです。 WAV 形式、44.1kHz、16 ビット・リニアのオーディオ・ファイルを使用してください。
エラー 30	本機の記憶容量が足りません。
エラー 40	MIDI から一度にたくさんの MIDI データが送られてきたため、本機で処理できません。
	MIDI から送信されるデータ量を減らしてください。
エラー 43	MIDI 通信でエラーが発生しました。 つないでいる MIDI 機器を確認してください。
エラー 51	システムに異常がある可能性があります。 操作をやり直してください。何度か操作をやり直してもこの表示が出る場合は、ローランドお客様相談センターにご連絡ください。
エラー 65	USB Memory 端子に過大な電流が流れました。 USB メモリーに異常がないか確認したあと、電源を入れ直してください。

音色一覧

ピアノ - グランド

No.	音色名
1	コンサートピアノ
2	バラードピアノ
3	メロウピアノ
4	ブライトピアノ

メモ

ピアノ [グランド] ボタンの音色のみ、ピアノデザイナーで音色を作ることができます。

ピアノ - アップライト

No.	音色名
1	アップライト
2	メロウ UP
3	ブライト UP
4	ロックピアノ
5	ラグタイムピアノ

ピアノ - クラシカル

No.	音色名
1	フォルテピアノ
2	メロウフォルテ
3	ブライトフォルテ
4	チェンパロ
5	チェンパロ 8'+4'

ピアノ -E. ピアノ

No.	音色名
1	トレモロ EP
2	ポップ EP
3	ビンテージ EP
4	FM E. ピアノ
5	EP ベル
6	'60s EP
7	クラビ
8	ステージフェイザ
9	'70s EP
10	E. グランド

その他

No.	音色名
1	スロー Str 1
2	エピック Str
3	リッチ Str
4	オーケストラ Str
5	オーケストラ
6	ウィンズ
7	ハーブ
8	バイオリン
9	アタック Str
10	フルート
11	チェロ
12	Orch プラス
13	ピチカート
14	スロー Str 2
15	ソフトパッド
16	マジカルピアノ
17	ジャズスキャット
18	パイプオルガン
19	ネイゾンフルート
20	コンボオルガン
21	バラードオルガン
22	チャーチオルガン 1
23	チャーチオルガン 2
24	ゴスペルスピン
25	フルストップ
26	メロウパー
27	ライトオルガン
28	ロワーオルガン
29	'60s オルガン

※ 音色番号 30 ~ 38 を選ぶと鍵盤でドラム・セットの音が鳴らせます。

※ 39 番以降は伴奏用の GM2 音色です。

※ 音色グループ「その他」で [-] [+] ボタンを押し続けて音色を切り替えると、18、30、39 番の音で音色の切り替わりが止まります。

※ 次の音色を選ぶには、一度 [-] [+] ボタンから指を離して、再度押してください。

内蔵曲一覧

No.	曲名	作曲者
リスニング		
1	献呈	シューマン、リスト編曲
2	革命のエチュード	ショパン
3	Floral Pursuits *	ドリーブ、ジョン・モール編曲
4	くるみ割り人形より「花のワルツ」 (ジャズ・アレンジ) *	チャイコフスキー
5	フィガロの結婚より「序曲」 *	モーツァルト
6	舟歌	ショパン
7	ひばり	グリンカ、バラキレフ編曲
8	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第1楽章	ベートーベン
9	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第2楽章	ベートーベン
10	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第3楽章	ベートーベン
11	ワルツ 作品 34-1	ショパン
12	英雄ポロネーズ	ショパン
13	ノクターン 第20番	ショパン
14	ます	シューベルト、リスト編曲
15	水の反映	ドビュッシー
16	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
17	ラ・カンパネラ	リスト
18	スケルツォ 第2番	ショパン
名曲		
1	箏笛の踊り *	チャイコフスキー
2	愛のあいさつ *	エルガー
3	メヌエット 長調	J.S. バッハ
4	前奏曲	J.S. バッハ
5	調子のよい鍛冶屋	ヘンデル
6	かっこう	ダカン
7	トルコ行進曲	モーツァルト
8	ピアノ・ソナタ 八長調 K.545 第1楽章	モーツァルト
9	トルコ行進曲	ベートーベン
10	エリーゼのために	ベートーベン
11	楽興の時 第3番	シューベルト
12	ガヴォット	ゴセック
13	ソナチネ 作品 36 の 1 第1楽章	クレメンティ
14	ソナチネ 作品 20 の 1 第1楽章	クーラウ
15	狩の歌	メンデルスゾーン
16	春の歌	メンデルスゾーン
17	歌の翼に	メンデルスゾーン
18	ノクターン 第2番	ショパン
19	別れの曲	ショパン
20	雨だれの前奏曲	ショパン
21	小犬のワルツ	ショパン
22	ワルツ 第7番	ショパン
23	幻想即興曲	ショパン
24	ラデツキー行進曲	ヨハン・シュトラウス 1世
25	トロイメライ	シューマン
26	楽しい農夫	シューマン
27	乙女の祈り	パダジェフスカ
28	お人形の夢と目ざめ	オースティン
29	婚礼の合唱	ワーグナー
30	愛の夢 第3番	リスト
31	花の歌	ランゲ
32	トロイカ	チャイコフスキー
33	ハンガリア舞曲 第5番	ブラームス
34	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス 2世
35	ユモレスク	ドボルザーク
36	月の光	ドビュッシー
37	アラベスク 第1番	ドビュッシー
38	ゴリウワグのケークウォーク	ドビュッシー
39	おまえが欲しい	サティ
40	ジムノペディ 第1番	サティ
コレクション		
1	きらきら星	フランス民謡
2	メリーさんのひつじ	外国曲
3	森のくまさん	アメリカ民謡
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	大きな古時計	ヘンリー・ワーク
6	花	滝 廉太郎
7	浜辺の歌	成田 為三
8	紅葉	岡野 貞一
9	雪	文部省唱歌
10	ハッピー・パースディ	M. ヒル、P. ヒル
11	恋に落ちた時	ピクター・ヤング
12	朝日のごとくさわやかに	シグマンド・ロンバーク
13	時の過ぎゆくままに	ハーマン・フッツフェルド
14	サマータイム	ジョージ・ガーシュイン
15	ムーンライト・セレナーデ	グレン・ミラー
16	メープル・リーフ・ラグ	スコット・ジョップリン
17	ティコ・ティコ	ゼキーニャ・ジ・アブレウ
18	四季より「春」	ビパルディ
19	軍隊行進曲	シューベルト
20	二人でお茶を	ピンセント・ユーマンズ

No.	曲名	作曲者
セレクション		
1	レット・イット・ゴー～ありのままで～	クリスティン・アンダーソン＝ロペス、ロバート・ロペス
2	アンダー・ザ・シー	アラン・メンケン
3	いつか王子様が	フランク・チャーチル
4	ハイ・ホー	フランク・チャーチル
5	アンパンマンのマーチ	三木 たかし
6	夢をかなえてドラえもん	黒須 克彦
7	さんぽ	久石 譲
8	トゥーランドットより「誰も寝てはならぬ」	プッチーニ
9	惑星より「木星」	ホルスト
10	ラプソディ・イン・ブルー	ジョージ・ガーシュイン
スケール		
1～36	メジャー・スケール、マイナー・スケール (ハーモニック、メロディック)	-
ハノン		
1～20	ハノン 第 1～20 番	ハノン
バイエル		
1～106	バイエル 第 1～106 番	バイエル
ブルグミュラー		
1	素直な心	ブルグミュラー
2	アラベスク	
3	牧歌	
4	子供のパーティー	
5	無邪気	
6	前進	
7	清いながれ	
8	優美	
9	狩	
10	やさしい花	
11	せきれい	
12	お別れ	
13	なぐさめ	
14	スティリエンヌ	
15	バラード	
16	小さな嘆き	
17	おしゃべり	
18	不安	
19	アヴェ・マリア	
20	タランテラ	
21	天使の声	
22	舟歌	
23	家路	
24	つばめ	
25	貴婦人の乗馬	
ツェルニー 100 番		
1～100	ツェルニー 100 番 1～100	ツェルニー

※ これらの内蔵曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。

※ 音色デモや内蔵曲の演奏データは、USB Computer 端子と **Bluetooth** (MIDI) からは出力されません。

※ SMF 再生モード (P.17) を「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF (P.16) の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。

※ (*) マークの付いている曲は、ローランド株式会社によるアレンジです。著作権はローランド株式会社が所有しています。

※ リスニング 1、2、6～18 は、ピアノ・ソロ曲です。伴奏はついていません。

※ スケールの楽譜は、巻末の「スケール楽譜集」をご覧ください。

※ ハノン～ツェルニーの楽譜は、市販のものをお買い求めください。

LX-17  T-1540113

LX-7  T-1540115

ローランド株式会社
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

スケール楽譜集

本機に内蔵されている、スケール・カテゴリーの曲に対応した楽譜集です。
スケールの練習にご活用ください。

効果的な練習のしかた

♪ 練習する調の曲を聴いて耳で覚えましょう。

➡ 曲を選ぶ／再生する：取扱説明書 P.9

♪ はじめは、テンポを遅くして片手ずつ練習します。

楽譜を見ながら正しい指使いを覚えましょう。

片手ずつ練習するときは、パート・ミュート機能を使います。

➡ テンポを変える：取扱説明書 P.8

➡ 再生するパートを選ぶ（パート・ミュート）：取扱説明書 P.9

♪ 間違えずに弾けるようになったら、テンポを早くしていきます。

なめらかに粒を揃えて弾くことを意識しましょう。

伴奏をよく聴いて、テンポを一定に保ちながら弾きましょう。

練習を録音して聴き返しをすると、自分の演奏の良いところや悪いところを確認できます。

➡ 録音する：取扱説明書 P.9



Major Scales (メジャー・スケール)

C major (ハ長調、C-Dur)

Handwritten musical score for the C major scale in 4/4 time. The treble staff starts on middle C (C4) and the bass staff starts on C3. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of C major in both staves.

G major (ト長調、G-Dur)

Handwritten musical score for the G major scale in 4/4 time. The treble staff starts on G4 and the bass staff starts on G2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of G major in both staves.

D major (ニ長調、D-Dur)

Handwritten musical score for the D major scale in 4/4 time. The treble staff starts on D4 and the bass staff starts on D2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of D major in both staves.

A major (イ長調、A-Dur)

Handwritten musical score for the A major scale in 4/4 time. The treble staff starts on A4 and the bass staff starts on A2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of A major in both staves.

E major (ホ長調、E-Dur)

Handwritten musical score for the E major scale in 4/4 time. The treble staff starts on E4 and the bass staff starts on E2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of E major in both staves.

B major (ロ長調、H-Dur)

Handwritten musical score for the B major scale in 4/4 time. The treble staff starts on B4 and the bass staff starts on B2. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale is played in both directions: ascending and descending. The piece ends with a whole note chord of B major in both staves.

Major Scales (メジャー・スケール)

F major (ヘ長調、F-Dur)

B \flat major (変口長調、B-Dur)

E \flat major (変ホ長調、Es-Dur)

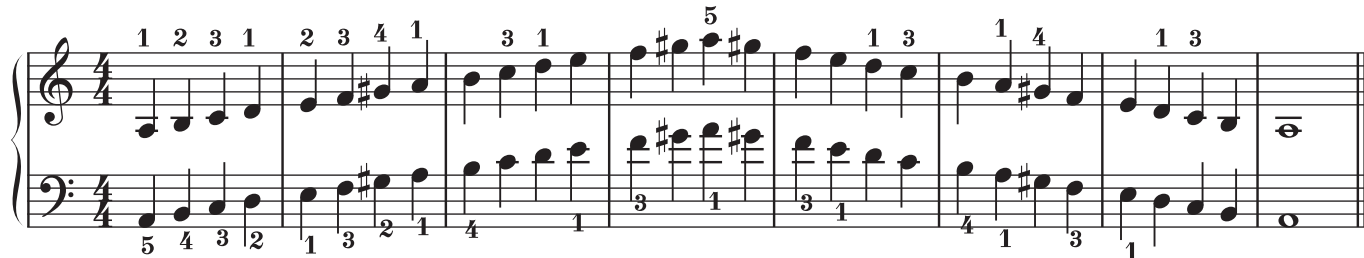
A \flat major (変イ長調、As-Dur)

D \flat major (変ニ長調、Des-Dur)

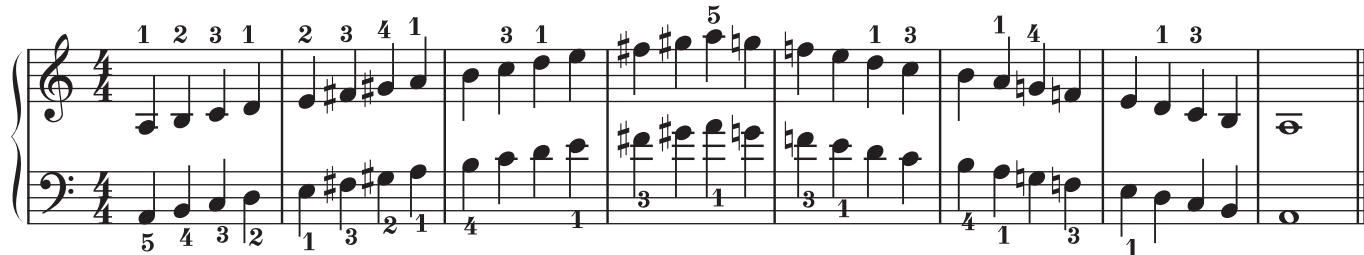
G \flat major (変ト長調、Ges-Dur)

Minor Scales (マイナー・スケール)

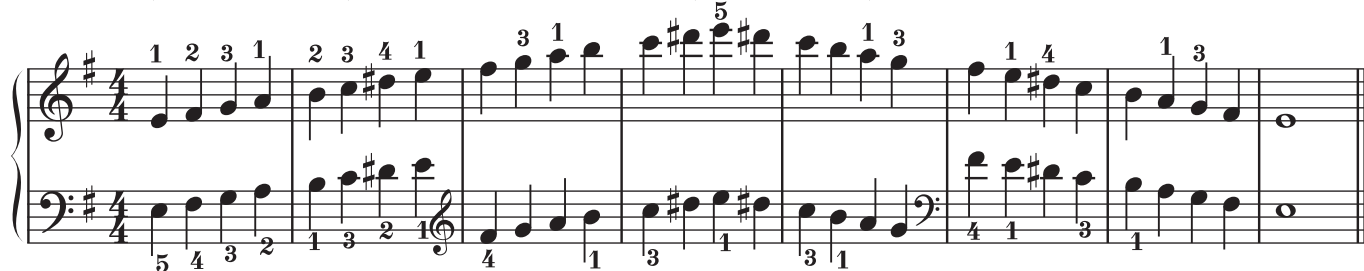
A minor (イ短調、a-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



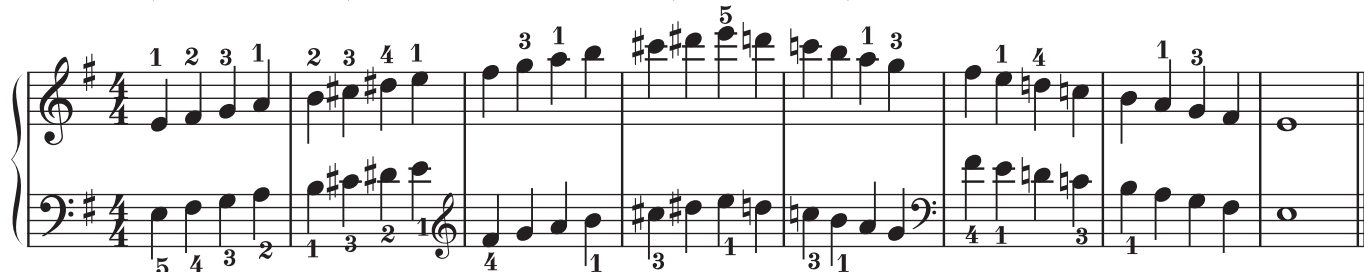
A minor (イ短調、a-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)



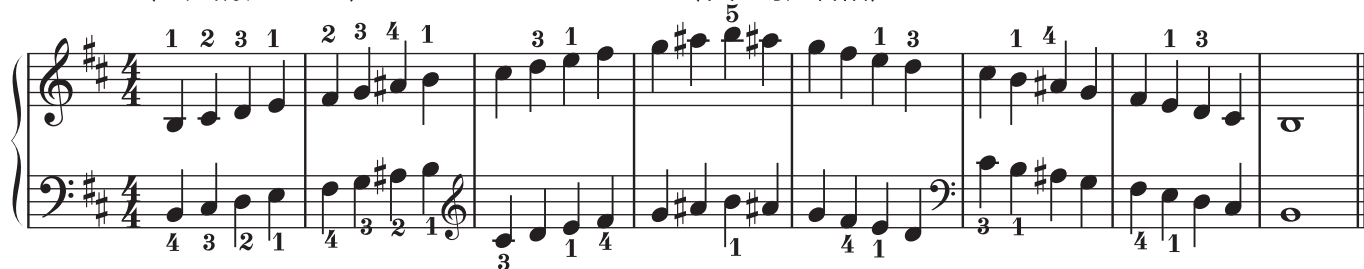
E minor (ホ短調、e-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



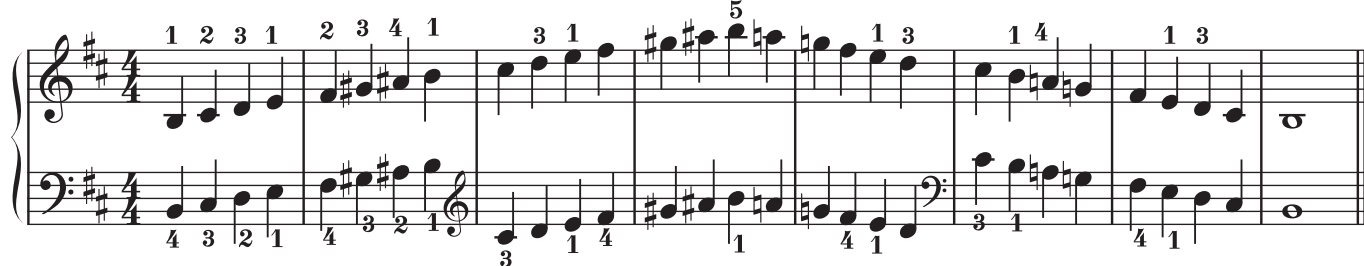
E minor (ホ短調、e-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)



B minor (ロ短調、h-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



B minor (ロ短調、h-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)



Minor Scales (マイナー・スケール)

F# minor (嬰へ短調、fis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

F# minor (嬰へ短調、fis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

C# minor (嬰ハ短調、cis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

C# minor (嬰ハ短調、cis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

G# minor (嬰ト短調、gis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

G# minor (嬰ト短調、gis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Minor Scales (マイナー・スケール)

D minor (二短調、d-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

D minor (二短調、d-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

G minor (ト短調、g-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

G minor (ト短調、g-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

C minor (ハ短調、c-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

C minor (ハ短調、c-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Minor Scales (マイナー・スケール)

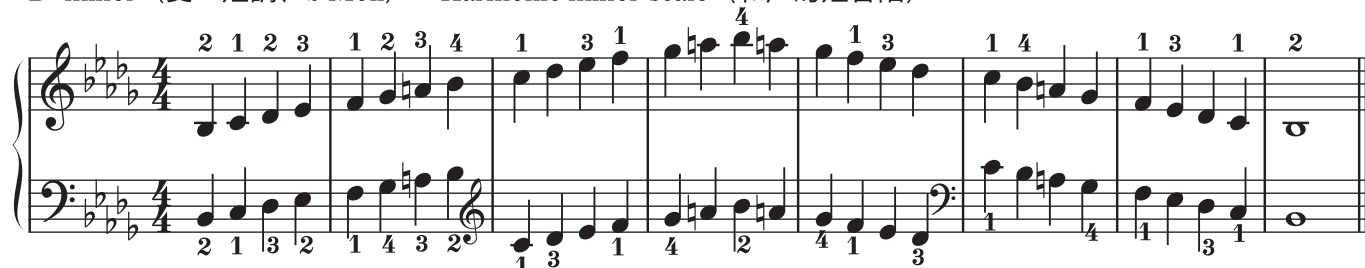
F minor (ヘ短調、f-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



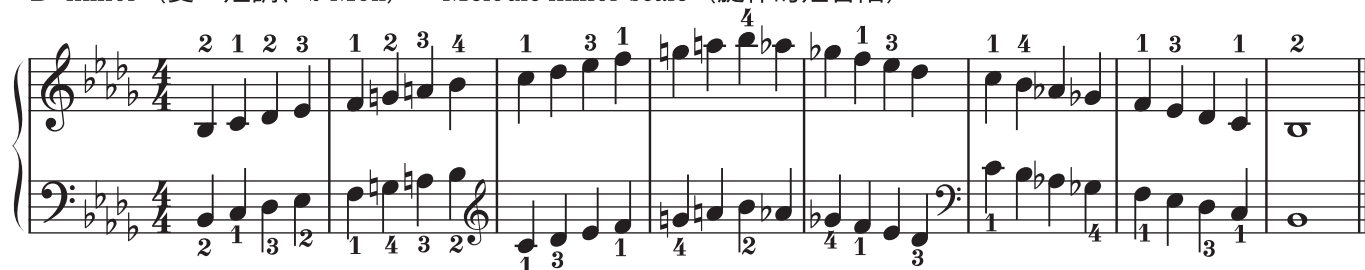
F minor (ヘ短調、f-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)



Bb minor (変口短調、b-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



Bb minor (変口短調、b-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)



Eb minor (変ホ短調、es-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)



Eb minor (変ホ短調、es-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

